

リアホナ



**主は
わたしたち一人一人を
癒す力をお持ちです、
18ページ**

ホランド長老と姉妹、
扶助協会について語る、28ページ

選ばれる者の道を選ぶ、54ページ

ローザは友達を見つけました、66ページ



「鉄の棒をつかむ」 ルイーズ・パーカー画

南アフリカ出身のこの画家は、鉄の棒をしっかりつかむ女性の絵を通して、わたしたちが世界に広がる教会の一員であり、モルモン書への信仰を含む多くの事柄によって互いに結ばれていることを思い起こさせてくれます。

「それから、一本の鉄の棒が見えた。それは川の岸に沿ってずっと延び、わたしの立っているそばの木の所まで達していた。

また一本の細くて狭い道も見えた。その道

はこの鉄の棒に沿い、わたしの立っているそばの木の所まで来ていた。……

そして、わたしはまた、押し進んで来るほかの人々を見たが、この人々は進んで来て、鉄の棒の端をつかんだ。そして彼らは、鉄の棒にすがりながら暗黒の霧の中を押し進み、ついに進んで来てその木の实を食べた。」(1ニーファイ8:19-20, 24)



メッセージ

- 4** 大管長会メッセージ——
良いところを探す
ディーター・F・ウークトドルフ管長
- 7** 家庭訪問メッセージ——
神権の下に、神権の規範に倣^{なら}って

特集

- 14** 洪水で離れ離れになっても、
祈りで結ばれた家族
メリッサ・メルル
コスタリカに住むトレス家の人々は信仰によって悲劇に立ち向かいました。
- 18** 癒^いしの力
菊地良彦長老
もしもわたしたちが救い主の贖^{あがな}いに頼り、聖霊によって心を和らげていただくなら、主は心の傷を癒し、憎しみをぬぐい去ってくださいます。

- 24** 大いなる聖徒の共同体
どこに住んでいようと、教会員は福音を通して人生の苦難に立ち向かう強さを得ることができます。
- 28** 「愛はいつまでも
絶えることがない」——
扶助協会についての
ディスカッション
ジェフリー・R・ホランド長老、
パトリシア・T・ホランド姉妹
ホランド長老と姉妹が、扶助協会の神聖な役割に対する思いを述べています。

シリーズ

- 8** 小さな、簡単なこと
- 10** わたしたちが信じていること——
神は預言者とわたしたちに
真実を明らかにされる
- 12** 福音クラシック——
欺^あかれないようにしなさい
ジョセフ・フィールディング・スミス大管長

- 17** キリストについて語る——
打ち砕かれた心を持つ者を癒^いす
ジョルジュ・A・ボネ
- 32** わたしたちの家庭、
わたしたちの家族——
家族の教義を教える
ジュリー・B・ベック
- 38** 末日聖徒の声
- 74** 教会のニュース
- 78** 家庭の夕べのためのアイデア
- 80** また会う日まで——
ワードという家族に守られて
キャロライン・キングスレー

表紙

表紙——「助言者キリスト」カール・ヘンリック・ブロック © IRI 裏表紙——フォトイラストレーション/デビッド・ストーカー



42

42 ホームティーチングと家庭訪問
—— 仕える働き

ホームティーチャーや訪問教師に
召されたばかりですか？ この9つ
のアイデアが役に立つでしょう。



こんげつごう なか
今月号の中に
かく 隠れている
リアホナを
さが 探しましょう。
ヒント——虹の下



54

46 そこが知りたい

48 ポスター——スーパー！

49 行くべきか、とどまるべきか

ロドルフォ・ジャーニ
伝道に出る時が来たとき、わたしの
両親は入院中でした。二人を
置いて行くことができるかどうか
分かりませんでした。

50 信仰のディフェンダー

リチャード・M・ロムニー
セルバはサッカーグラウンドの中
でも外でもディフェンダーです。

52 寛容とは何でしょう

ラッセル・M・ネルソン長老
クリスチャンの愛と寛容には制限
があるのでしょうか。

54 選ばれる者の道

青柳弘一長老
バプテスマを受けたとき、永遠の
命への旅は始まったばかりにすぎ
ません。

58 笑顔のすてきな少女

ミッシェル・グラウザー
自分の置かれた状況をコントロ
ールすることはできません。でも自
分の態度はコントロールできます。



59

59 特別な証人——

福音はわたしをどのように
幸せにしてくれるでしょうか？
デビッド・A・ベドナー長老

60 イーライの手術

ジェーン・マクブライド・チョート
もうすぐ手術を受けるイーライに
は、平安が必要でした。

62 み恵み数えあげ

ヘンリー・B・アイリング管長
この教えに従えば、祝福を覚えて
いることができます。

64 しょうきょうかいを かけていても

——天の おん父は
よげんしゃを 通して
わたしたちに 語られます
ジョアン・チャイルド、
クリスティーナ・フランコ

66 活動の日に得た答え

レベッカ・バーナム
あたらしい友達がまだ一人もいな
かったので、活動の日に行きたく
ありませんでした。

68 わたしたちのページ

69 せいぶん ポスター——モーセ

70 小さな お友達へ

大管長会: トーマス・S・モンソン, ヘンリー・B・アイリング, ディーター・F・ウークトドルフ

十二使徒定員会: ボイド・K・バッカー, L・トム・ベリ, ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オークス, M・ラッセル・バラード, リチャード・G・スコット, ロバート・D・ヘイルズ, ジェフリー・R・ホルランド, デビッド・A・ベドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファーソン, ニール・L・アンダーセン

編集長: ポール・B・パイパー

顧問: スタンレー・G・エリス, クリストフェル・ゴールデン・ジュニア, 菊地良彦

実務運営ディレクター: デビッド・L・フリッシュニク

編集ディレクター: ピンセント・A・ボーン

グラフィックスディレクター: アラン・R・ロイボーク

編集主幹: R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐: ジェニファー・L・グリーンウッド, アダム・C・オルソン

共同編集者: ライアン・カー

編集補佐: スーザン・バレット

編集スタッフ: デビッド・A・エドワーズ, マシュー・D・フリットン, ラリー・ポーター, ガント・ラリー・ヒラー, キャリー・カステン, ジェニファー・マティエ, メリッサ・メリル, マイケル・R・モリス, サリー・J・オデカー, ジョシュア・J・パーキー, チャド・E・ファレス, ジェン・ピンボロー, リチャード・M・ロムニー, ジャネット・トーマス, ポール・バンデンバーク, ジュリー・ワートル

主任秘書: ローレル・トイスチャー

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: スコット・バン・カンペン

制作主幹: ジェーン・アン・ピーターズ

主任デザイナー: C・キンボール・ボット, トーマス・S・チャイルド, コリン・ヒンクレー, エリック・P・ジョンソン, スコット・M・ムーイ

制作スタッフ: カリ・R・アロヨ, コレット・ネベカー・オーヌ, ハワード・G・ブラウン, ジュリー・パーデット, レジナルド・J・クリステンセン, キム・フェンスターマーカー, キャスリーン・ハワード, デニス・カービー, キニー・J・ニルソン

製版: ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター: クレグ・K・セドウィック

配送ディレクター: エバン・ラーセン

日本語版翻訳課長: ヘンリー・W・サブストローム

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30

電話 03-3440-2351

年間予約/海外予約 1,000円(送料共)

普通号/大会号 150円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は下記の連絡先にお送りください。

Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,

Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

電子メール: liahona@ldschurch.org

「リアホナ」は、www.liahona.lds.org に様々な言語で掲載されています。「リアホナ」(モルモン書)に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語, アルメニア語, ビスマラ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, ギリシャ語, ヒンディー語, ハンガリー語, アイスランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリバス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, シンハラ語, スロベニア語, ス페인語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タミル語, テルグ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語。(発行頻度は言語により異なります。)

©2011 Intellectual Reserve, Inc. 著作権所有。印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用する場合は複写することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複写できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール — cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada: March 2011 Vol. 35 No. 3. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431) POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, PO Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

インターネットで得られる追加情報

Liahona.lds.org [英語]

成人



ホランド長老と姉妹は、**扶助協会**が個人や家族、ワードや支部をどのように**強めることができる**か話し合っています(28ページ参照)。さらに詳しくは、www.reliefsociety.lds.org を参照してください。

菊地長老は、ずっと偏見を抱き続けてきた人々をも癒す救い主の癒しの力について証しています(18ページ参照)。**救い主の使命**についてさらに詳しくは、www.JesusChrist.lds.org を参照してください。

青少年

福音に関するビデオ、証、記事、そのほかの資料が www.youth.lds.org に掲載されています。

子ども



子供の活動が www.liahona.lds.org にたくさん掲載されています。

あなたの言語で

www.languages.lds.org で、「リアホナ」や教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

愛, 18, 52, 80

証, 24

願い, 17, 18

イエス・キリスト, 17

一致, 24

祈り, 14, 41, 66, 70

癒し, 18

教え, 32

改宗・改心, 38, 54

家族, 28, 32, 49

感謝, 62

寛容, 52

犠牲, 39

希望, 17

逆境, 14

教会指導者, 9, 47

教義, 32

啓示, 10

従順, 50

祝福, 62

昇栄, 32

正直, 40

神権, 7, 60

信仰, 39, 41, 50, 60,

66

神殿, 46

聖文, 10, 13, 73

態度, 4, 58

定着, 80

伝道活動, 39, 40, 47, 48

忍耐, 54

バプテスマ, 54, 68

扶助協会, 7, 28

奉仕, 28

模範, 40, 70, 72

友情, 66, 80

赦し, 18

預言者, 10, 64, 69



大管長会第二顧問
 ディーター・F・
 ウークトドルフ管長



良いところを 探す

新居を探していた末日聖徒の若い夫婦が、これから隣人になるかもしれない人たちに近所の様子や地域の学校について話を聞きました。

夫婦が話をしたある女性は、自分の子供たちが通っている学校についてこう言いました。「最高にすばらしい所ですよ。校長は立派で善良な人で、先生たちも優秀で、思いやりがあって親切です。子供たちがすばらしい学校に行けて、とてもうれしく思っています。あなたもきっと気に入ると思いますよ。」

別の女性は、自分の子供たちの学校について次のように言いました。「ひどい所よ。校長は自分のことしか考えていないし、先生たちも能力に欠け、失礼で不親切。お金さえあれば、すぐにでもこの地域から出て行くわ。」

興味深いのは、どちらの女性も同じ校長、同じ教師たち、同じ学校について語っていたという点です。

皆さんは次のことに気づいているでしょうか。たいいていの場合、人は何であろうと探しているものを見いだすことができます。十分に探すなら、どんな人にも、またどんなものにも、良いところと悪いところのどちらも見いだすことができます。末日聖徒イエス・キリスト教会についても、その設立以来、人々は同じことを行ってきました。良いところ

を探す人は、親切で思いやりにあふれた人々、すなわち主を愛して主に仕え、同胞の生活に祝福をもたらしたいと望む人々を見いだします。しかし、悪いところを探す人は、あまり理想的ではない事柄を必ず見つけることになります。

残念なことに、時々教会の中においてさえこのようなことが起こります。批判する理由を探す人は、果てしなく創造性が豊かで、巧妙であり、執拗しつようです。恨みを捨てることなどできないようです。うわさ話をし、他人のあら探しをします。何十年も悪い感情を抱き続け、あらゆる機会をとらえて人をけなし、中傷します。これは主にとって喜ばしいことではありません。「ねたみと党派心とのあるところには、混乱とあらゆる忌むべき行為とがある」からです（ヤコブの手紙3：16）。

ジョージ・Q・キャノン管長（1827－1901年）は、十二使徒定員会の一員として、また大管長会の顧問として、長年にわたってブリガム・ヤング大管長（1801－1877年）の身近で働き、大管長のことをよく知っていました。ヤング大管長の死後、キャノン管長は日記に次のように記しています。「わたしは〔ブリガム・ヤング大管長の〕振る舞いや勧告や教えについて、いかなるときにも心の中で、ましてや言葉や行いによって、批判やあら探しをしたことはなかった。今、そのことをうれしく思う。わたしは常にこう思っていた。も



しブリガム兄弟の批判やあら探しをしたり、彼を裁いたりするとしたら、どこまですればよいだろうか。もし始めたとしたら、どこでやめればよいだろうか。そのような判断が自分にできるとは思わなかった。わたしは批判やあら探しをしたいという思いに身を任せることがしばしば背教につながることを知っていた。わたしよりも強く、知恵と経験を持つ人たちは、多くのことを行いながら不幸な結果を免れるかもしれないが、わたしはあえて行おうとは思わない。」¹

このメッセージから教える

『教師、その大いなる召し』には次のように述べられています。「あなたは教えようとしている原則についての理解が不足していると感じるかもしれない。しかし、祈りをもって研究し、その原則を実践するように努力し、教える準備をし、そしてそれを人に分かち合うとき、あなた自身の証は強く、深くなる。」(19 ページ)

今月、世の中の良いものや他人の良いところを探してみると、より準備のできた状態でこのメッセージを教え、それが真実であることについて証できるでしょう。

このコップを見て、
半分も入っていると考える人がいます。
半分しか入っていないと考える人もいます。
どのように考えるかはあなた次第です。

キャノン管長の力強い勧告は、わたしたち教会員が大いに注意を払って考えるべきものです。神の言葉により、キリストに従う者たちは「清く、……平和、寛容、温順であり、あわれみと良い実とに満ち、かたより見ず、偽りが無い」ように戒められています。平和を作り出す人たちにとって、「義の実は、……平和のうちにまかれるもの」なのです(ヤコブの手紙3:17, 18)。

わたしたちは選ぶことができます。他人の悪いところを探すこともできます。または、平和を作り出し、自分が受けたいと切に望んでいるように人にも理解を示し、公正であり、人を赦すように努力することもできます。選ぶのはわたしたちです。何であろうと、わたしたちは探すものを確かに見いだすことになるからです。■

注

1. ジョージ・Q・キャノン、日記、1878年1月17日。つづりは現代の用法に修正

小さな、簡単なこと

「小さな、簡単なことによって大いなることが成し遂げられるのである。」
(アルマ 37:6)

世界各地の教会歴史

オランダ

50年前の今月、オランダ初のステークであるホラントステークがハーグに組織されました。英語以外を母語とする教会で初めてのステークとなりました。それよりさらに100年前の1861年8月に、ポール・オーガスタス・シェトラー長老とA・ウィーガーズ・ファンデルバウデ長老はオランダで福音を教えた最初の宣教師となりました。それから100年以上の間に、1万4,000人以上がバプテスマを受け、そのうちの多くが合衆国に移住しました。今日、9,000人近くの会員がオランダに住んでいます。

2002年9月8日に、ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008年）がオランダ・ハーグ神殿を奉献しました。ハーグ神殿は、オランダ、ベル

ギー、フランスの一部の、合わせて5つのステークと1つの地方部の会員に利用されています。



オランダ・ハーグ神殿



カレンダー

中央若い女性集会

12歳から18歳の若い女性、その母親、若い女性の指導者は全員、3月26日に行われる中央若い女性集会に出席するよう招かれています。この集会では、大管長会の一員と中央若い女性会長会が話す予定です。今年の集会のテーマは「わたしたちは信じる」です（信仰簡条1:13）。

可能であれば、若い女性と、母親と、指導者は、礼拝堂に集まって一緒に放送を見るように奨励されています。放送時間と場所に関する情報は、地元の神権指導者に尋ねるか、www.broadcast.lds.org で確認してください。

オランダの教会

会員数	8,909
伝道部数	1 (ベルギーも含む)
ステーク数	3
ワード/支部数	33
神殿数	1

教会の指導者について どれくらい御存じですか？

来月は総大会です。総大会の多くの話者の中に、大管長会と十二使徒定員会の会員が含まれることでしょう。

彼らの名前と、人生の様々な出来事を結び付けてみてください。



- A. 若いころ、バレーボールによく似たバンボールというスポーツを楽しみました。
- B. 父親の名前を取って名付けられ、家族や親友からハルと呼ばれています。
- C. 執事のときに、芸術家である父親に連れられて、聖なる森に行きました。家に戻ると、父親は彼のために聖なる森の絵を描いてくれました。以来、彼はその絵を、あの特別な経験の思い出として部屋の壁に掛けています。
- D. 5歳のときに家族と一緒にアメリカ合衆国アイダホ州ポカテロの牧場に引っ越しました。そこでウサギを育て、馬に乗り、野原できょうだいたちと遊びました。
- E. 現在の管長会と十二使徒定員会の中で、合衆国以外の国で生まれたのは彼だけです。
- F. 高校生のとき、最上級クラスの会長を務め、討論会に参加しました。
- G. 小さなころから熱心なスポーツマンで、高校時代にはフットボール、バスケットボール、陸上競技、野球で最優秀選手に選ばれました。また、フットボールとバスケットボールでは州の優勝チームの一員でした。
- H. 息子と毎晩のようにチェッカー（西洋碁）をしました。息子は言います。「わたしたちはたいてい3度対戦しました。父は1度目はわたしに勝たせてく



- 1. トーマス・S・モンソン大管長
- 2. ヘンリー・B・アイリング管長
- 3. デイター・F・ワークトドルフ管長
- 4. ボイド・K・バックナー会長
- 5. L・トム・ペリー長老
- 6. ラッセル・M・ネルソン長老
- 7. ダリン・H・オークス長老
- 8. M・ラッセル・バラード長老
- 9. リチャード・G・スコット長老
- 10. ロバート・D・ヘイルズ長老
- 11. ジェフリー・R・ホランド長老
- 12. デビッド・A・ベドナー長老
- 13. クエンティン・L・クック長老
- 14. D・トッド・クリストファーソン長老
- 15. ニール・L・アンダーセン長老

れて、2度目は自分が勝ちます。それから3度目に『負けるが勝ち』というルールで対戦して、わたしが勝ったり父が勝ったりしました。

- I. 20代前半のとき、第二次世界大戦でパイロットとして従軍しました。
- J. 大学へ行くお金を得るために、カキ漁船で働きました。ほかの漁師たちは彼が酒を飲まないことを最初はばかにしていましたが、ある人が海に落ちて、酒を決して飲まなかったこの使徒が救助してからは、ばかにする人はいなくなりました。
- K. 大学生のころ、ラジオのアナウンサーとして働きました。
- L. 十二使徒に召される前はリックスカレッジの学長でした。リックスカレッジがプリガム・ヤング大学アイダホ校に移行するのを助けました。
- M. スペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985年）が大管長になる少し前に、彼の心臓手術を行いました。
- N. アルゼンチンで伝道していたとき、スコット長老が彼の伝道部会長でした。
- O. 中央幹部として召される前は、父親と同じく自動車販売の仕事をしていました。



教会の指導者の略歴についてさらに詳しく知りたい場合は、www.newsroom.lds.org [英語] を参照してください。

8-O ° M-12 ° T-7 ° K-7 °
E-3 ° F-13 ° G-II ° H-I ° I-4 ° J-9 °
A-5 ° B-2 ° C-10 ° D-15 °

神は預言者とわたしたちに 真実を明らかにされる

預言者はイエス・キリストについての特別な証人で、キリストの神性を証します。神は地上において御自身を代表する者として預言者を召されます。預言者は真理を教え、神の言葉を解き明かし、またそのほかの方法で、神の指示に従ってわたしたちを祝福します。預言者が神の代わりに話すとき、それはあたかも神が話しているようです(教義と聖約1:38 参照)。預言者たちは、昔と同じように、今日も地上にいます。

教会全体に対する啓示は、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長であるトーマス・S・モンソンを通して与えられます。彼は神の預言者です。教会員が「預言者」について話すとき、大管長について話しています。しかし、今日地上には、そのほかの預言

者たちもいます。モンソン大管長の二人の顧問、ヘンリー・B・アイリング管長とディーター・F・ワークトドルフ管長も預言者です。十二使徒定員会に属するほかの12人もまた、預言者と呼ばれます。

愛に満ちた天の御父の子供であるわたしたちも、自分の生活に関して御父から啓示を受けることができます。啓示は時には示現や夢、天使の訪れを通してもたらされることもあります。神がわたしたちに御心を伝えられる最も一般的な方法は、静かで霊的な聖霊の促しを通してです。個人の啓示を通して、わたしたちは力と、祈りの答えを受けることができます。

「**天**は実際に開かれました。イエス・キリストの福音が回復され、教会は啓示という岩の上に建てられています。何とありがたいことでしょうか。わたしたちは今日地上に使徒と預言者が与えられている祝福された民です。」

トーマス・S・モンソン大管長
「閉会に当たり」『リアホナ』2009年11月号, 109



現代の預言者の
 靈感された教えは
 どこで読むことができますか。

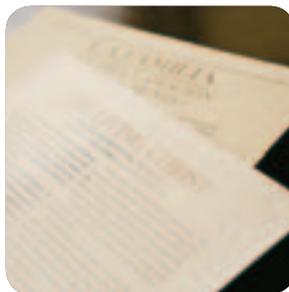
1. 教義と聖約には、現代の預言者に与えられた啓示が集められています。教義と聖約はインターネット www.scriptures.lds.org に掲載されています。



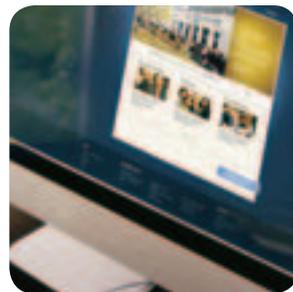
2. 大管長や彼の顧問のメッセージは、毎月『リアホナ』に掲載されます(幾つかの言語ではLDS.orgで読むこともできます)。



3. 『家族——世界への宣言』と『生けるキリスト——使徒の証』は、預言者が家族と救い主に関する真理を宣言したものです。両方ともLDS.orgに掲載されています。

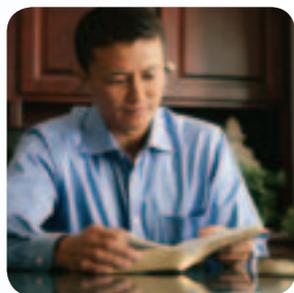


4. 大管長会と十二使徒定員会のすべての会員は、6か月ごとに教会の総大会で話します。www.conference.lds.orgで総大会での彼らの話を読んだり、映像を見たりすることができます。



1. 導きを求めて断食し、熟考し、祈ります。

どうすれば個人の啓示を受けられるのでしょうか。



2. 聖文を読みます。聖文は天の御父がわたしたちの祈りにこたえて導きを与えてくださる方法です。聖霊はわたしたちが読む言葉を理解できるように助けてくださいます。



3. 毎週日曜日に教会に出席します。そして可能であれば神殿に参入します。



4. 聖霊から導きを受けるふさわしさを保てるように、戒めを守ります。■

「あなたに^{くだ}降ってあなたの心の中にとどまる聖霊によって、わたしはあなたの思いとあなたの心に告げよう。

さて見よ、これは啓示の霊である。」
 (教義と聖約 8:2-3)

詳しくは、ダリン・H・オークス「二つの伝達経路」『リアホナ』2010年11月号, 83; 『福音の原則』(2009年版)「神の預言者」39-43; 『真理を守る』「啓示」140-144を参照してください。

欺かれないように しなさい



教会の第10代大管長ジョセフ・フィールディング・スミスは1876年7月19日に生まれました。1910年4月7日に使徒に聖任され、1970年1月23日に教会の大管長として支持されました。スミス大管長は1953年に行われたこの説教の中で、世の中の偽りの理論に欺かれないようにするにはどうしたらよいかを青少年に教えました。

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長（1876 - 1972年）

今 日の世の中は非常に混迷しています。率直に申し上げると、わたしたちが暮らしているのは、神を捨てた、あるいは急速に捨てつつある世の中なのです。この世ではキリスト教の様々な宗派の聖職者が人の作った哲学を恐れ、主の御霊みたまを受けていないゆえに、聖文または聖文の意味を変えようとしてきました。今日の世に広く蔓延まんえんしている偽りの理論、すなわち神の啓示とはまったく相反する理論に合わせるためです。しかも、こうした人々は恐怖心を抱き、偽りの哲学の影響に支配され、神の教えに基づいていないこうした理論や考えに合わせるために教義を変更しているのです。

わたしたちはそのようなことをするわけにはいきません。……

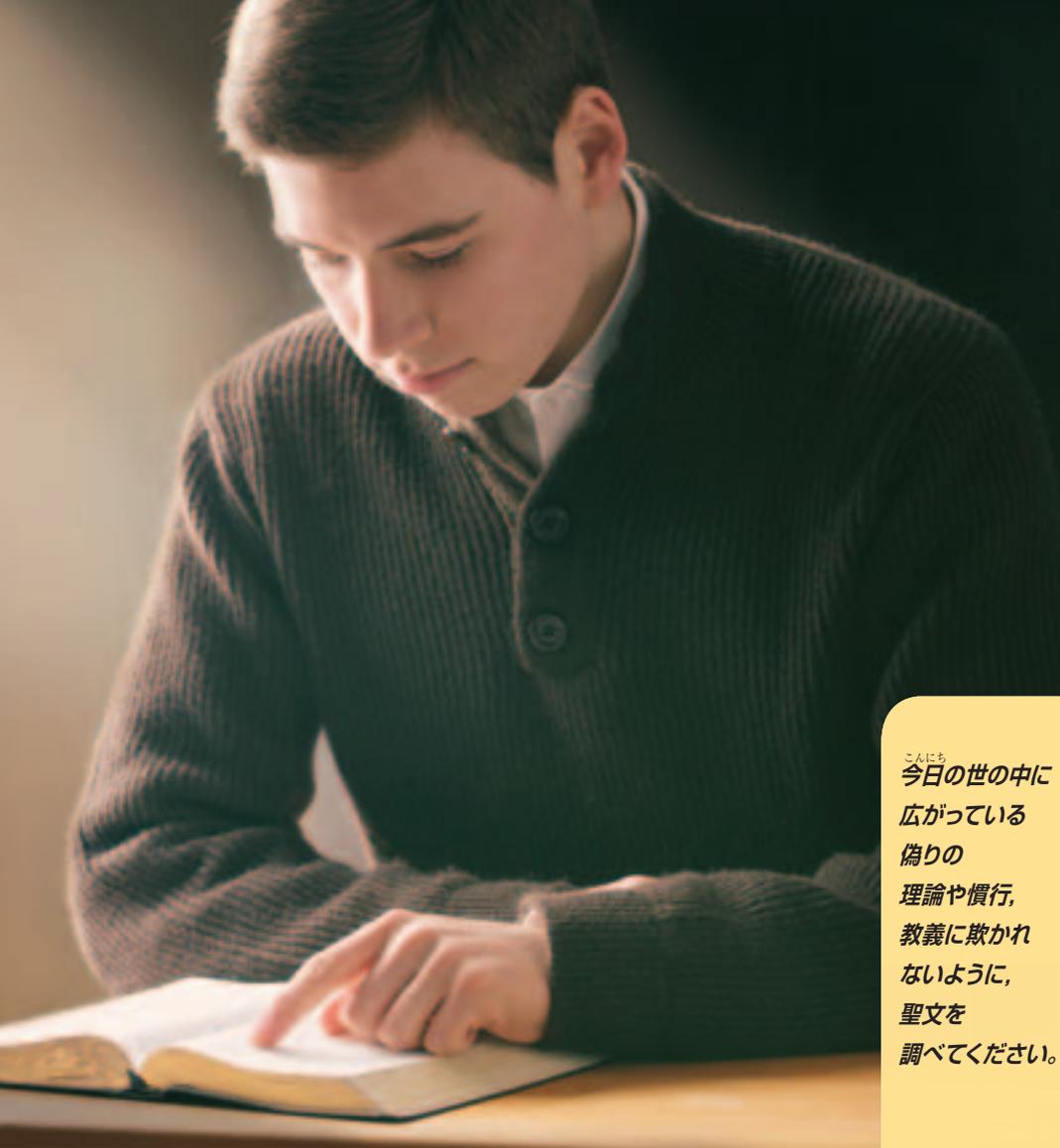
「その光は暗闇くらやみの中に輝いている。そして、暗闇はそれを理解しない。それにもかかわらず、あなたがたは神にあって、また神によって生かされるので、まことに神を理解する日が来るであろう。

そのとき、あなたがたは、わたしを見たこと、わたしがいること、わたしがあなたがたの中にあるまことの光であること、またあなたがたがわたしにいてることを知るであろう。そうでなければ、あなたがたは豊かになることができない。」(教義と聖約 88: 49 - 50)

これはすばらしい啓示です。教会員一人一人にとって非常に重要な多くの事柄を網羅しています。

第88章を読んだ人はどのくらいいるでしょうか。この章だけを読んで終わりにしないでください。この聖文を自分に与えられたテーマとして考えてください。これほど良いテーマはありません。そして啓示全体を読んでください。さらに、聖典全体を読んでください。教義と聖約の冒頭の章、すなわちこの書物の序文、主のはしがきの中で、主はこう命じておられます。「これらの戒めを調べなさい。これらは真実であり、確かであって、これらの中にある預言と約束はすべて成就するからである。」

世の中の風潮に合わせて自分の標準を幾らか変更する人もいますが、わたしたちは聖文および啓示された福音の真理を確固として守らなければなりません。



こんにち
**今日の世の中に
広がっている
偽りの
理論や慣行、
教義に欺かれ
ないように、
聖文を
調べてください。**

けに頼って理解することのないようにしてください〔教義と聖約 88:86, その年のミューチャルのテーマ〕。大変すばらしいテーマではありますが、今日の世の中に広がっている偽りの理論や慣行、教義に欺かれないように、聖文を調べてください。このように行い、教会員各自が受ける権利を持っている主の御霊の導きを心に受け、聖霊を伴^{ほんりよ}侶とするなら、人の理論に惑わされることはないでしょう。なぜなら、それらが偽りであることを主の御霊から教えられ、皆さんが理解できるように識別の霊を授かるからです。……

そして、イエス・キリストの福音を理解するなら、自由になるでしょう。ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、競走、ダンス、その他の娯楽が主の御霊を欠くものであるなら、皆さんにとって何の価値もないでしょう。あらゆることを祈りの精神と信仰をもって行いましょう。わたしがそう言う必要はないかもしれませんが、そのように思います。神の栄光にひたすら目を向けて、あらゆることを行いましょう。そして自分自身と末日聖徒イエス・キリスト教会をさらに強く築くために教えましょう。■

『インブループメント・エラ』(Improvement Era) 1953年9月号、646-647、671-672、674、676-678に掲載された“Entangle Not Yourselves in Sin”と題する説教から。原文〔英語〕においては、句読点、大文字は標準用法に修正。

(教義と聖約 1:37) 「これらの戒めを調べなさい。」わたしたちはどれほど主を愛していますか。すべての戒めの中で最も重要なものは何ですか。それについて主は、教義と聖約第 59 章の中で、時満ちる現代の神権時代における末日聖徒イエス・キリスト教会の会員に当てはめて、こう述べておられます。

「それゆえ、わたしは彼らに戒めを与えて、このように言う。あなたは心を尽くし、勢力と思いと力を尽くして、主なるあなたの神を愛さなければならない。

また、イエス・キリストの名によって、神に仕えなければならない。』(教義と聖約 59:5) ……

ですから、すべての戒めの中で第一に重要なのは全身全霊を尽くして神を愛することであり、イエス・キリストの御名により神に仕えることです。そして時満ちる神権時代に啓示されたこれらの真理に精通するよう主は命じておられます。

どれほど多くの人々がそれを行ってきたでしょうか。そこで皆さんに、またすべての教会員に申し上げます。一つの聖句だ

洪水で離れ離れになっても、 祈りで結ばれた家族

トレス家の人々は、寝室に閉じ込められたり、家具でふさがれたり、木の枝にしがみついたりしながら、ただ一つのことをして助かりました。

教会機関誌

メリッサ・メリル

2005年9月25日のことでした。ビクター・マニエル・トレス・キロス兄弟と妻のヤミレス・モンジュ・ウレーニャ姉妹とその家族は穏やかで静かな日曜日を過ごしていました。教会から戻って休息を取り、読書をするなどして、静かな雨の日の午後を、コスタリカの山あいにある自宅で過ごしていたのです。

終末はずっと雨が降っていました。その地方ではその時節によくあることでした。午後5時ごろ、トレス兄弟は家の敷地近くを流れている川の水位がふだんより高くなり、水が家の方へ迫って来ているのに気づきました。兄弟は落ち着いて家族に注意を呼びかけ、水が家の中に入って来ないように用心のために、11歳の息子のエリックと一緒に戸口に毛布を置き始めました。

瞬く間に、川の水かさか家の周囲で1.5メートルを超えるほどにまで増加しました。そしてあっと言う間に、水が窓からどっと流れ込んできたのです。(後で分かったことですが、地滑りが

起きたために、突然水が押し寄せたのです。) トレス兄弟は裏庭へ逃げるよう家族に大声で叫びました。裏庭には木や周囲より高い場所があったのです。10代の3人の娘、ソフィア、コリナ、モニカはすぐに家から出ました。

しかし、トレス姉妹は外へ出ることができませんでした。そこで、その週末に預かっていた幼い子供のエリザベスと一緒に寝室へ駆け込みました。素早くベッドによじ登ると、驚いたことに、ベッドが水に浮かびました。ほかの家族がどこにいるのか、無事なのかどうか、まったく分かりませんでした。幼いエリザベスはトレス姉妹にこう言って大切なことを思い起こさせてくれました。「泣かないで。神様はわたしたちを愛していらっしゃるのを忘れないでね。」そして二人は祈り始めました。

トレス兄弟は外へ出た娘たちの後を追いました。でもふと気づくとエリックがどこにいるのか分かりませんでした。水の流れと奮闘しながら、家の中へ戻りました。すると、エリックががれきの山の上に立っているのを見つけました。壊れた壁や家具、

がらくたや木の枝などが、閉まっているドアの所に押し流されていたのです。二人は一緒に台所へ移動し、トレス兄弟はエリックを安全な高い所へ移しました。するとトレス兄弟は流れて来たナイロンのひもが足に巻き付いていたため、足を動かしにくくなっていることが分かりました。それでもなお、何とか冷蔵庫や家具を押し動かして、ドアが閉まって自分と息子が中に閉じ込められないようにしました。

台所からは裏庭にいる娘たちが見えましたが、トレス姉妹とエリザベスがどうしているか分かりませんでした。トレス兄弟と一緒に祈って天の御父の助けを求めようと言いました。

その間、外でグアバの木に登っていた娘たちも祈っていました。ソフィア、コリナ、モニカには水が家の中を勢いよく流れているのが見えませんでした。どう見ても、家の中に取り残されている人が生存しているとは思えません。家族のことを心配し、寒さと恐怖で震えながら、



少女たちは賛美歌を歌い、一緒に祈りました。「水が引くように天の御父に頼みました」とソフィアは言っています。「信仰を持つことが必要だと分かっていました。信仰がなければ、奇跡は起きないのです。目を開けると、ほんとうに水位が下がっていました。最高にうれしい瞬間でした。」

水位は下がり続けました。間もなく、父親は外へ出て、娘たちに大丈夫かと尋ねました。もう暗くなっていたので、家の中へ戻り、ろうそくを見つけ、ガソリンを使ってたいまつを燃やしました。家族が家の中にいることを近所の人たちに知らせるためです。

一人の隣人がたいまつを見て、助けに来てくれました。娘たちを木から下ろすのを手伝い、トレス姉妹とエリザベスが閉じ込められている寝室のドアをふさいでいる物をトレス兄弟と一緒に動かしました。その晩、家族は親戚しんせきの家に泊まりました。

家から出たときには暗くなっていたので、家族は家の被害の程度が分かりませんでした。月曜日の朝に戻ると、すべてを失ったことが分かりました。

にもかかわらず、家族は不平を言いませんでした。「主がお与えになり、主が取り去られることが分かっていました」とトレス兄弟は述べています(ヨブ 1: 21 参照)。たとえ家や家財道具が壊れてしまっても、トレス姉妹はこう言いました。「ただただ感謝しました。

天の窓が開かれたことが分かりました。」命が守られ、その後、祝福にも恵まれたのです。

これらの祝福の多くは、コスタリカ各地の教会員の寛大な援助によって与えられたものです。木曜日までには、ベッドや家具、食料や衣類、その他の生活必需品がサンホセ地域の幾つかのステークの会員たちから届けられました。4日後には、家族は新たに住む場所も見つけました。

「神様はほかの人々の手を使って、愛を示してくださることが分かりました」とトレス姉妹は述べています。「当時助けてくれた人や兄弟姉妹がたくさんいました。ほんとうに多くの愛を感じました。どうして自分たちはこんな目に遭うのかと、問う理由はありませんでした。」

「家族全員の命が助かったのは奇跡です」とトレス兄弟は言っています。「疑いもなく、家族の信仰は増しました。神が生きておられ、わたしたちを愛しておられることは確かであると分かります。」

トレス姉妹はこう付け加えました。「わたしたちには長い間、家族のモットーがありました。『神はわたしたちの生活のささいなことにまで関心を向けておられる』というものです。この経験をして、これが確かであると分かりました。天の御父はわたしたちを御存じです。わたしたちの祈りにこたえてくださいます。」■

トレス家の
女の子たちがいた
裏庭から見ると、
家の中に
取り残されている人が
生存しているとは思えませんでした。
心配し
恐怖で震えながら、
少女たちは
賛美歌を歌い、
一緒に祈りました。

打ち砕かれた心を 持つ者を癒す



ジョルジュ・A・ボネ

1990年代、教会職員のわたしはブルンジ、ルアンダ、ソマリアにおける救援活動を担当することになり、家族を伴ってアフリカに赴任しました。それは飢饉と残虐行為と戦争の悲惨な時期で、人々は計り知れない苦難を経験していました。

難民キャンプには数千人が収容されていました。数百人の孤児たちが自分で作った粗末な住まいで生活していました。コレラ、腸チフス、栄養失調が常に存在していました。ごみの悪臭と死臭が絶望に拍車をかけました。

わたしはできる限りの援助を提供しようと必死でした。教会は赤十字の国際委員会やその他の団体と連携して援助を提供していたのですが、そのように残虐行為や悲劇が横行する中で、自分たちの努力が役に立っているのか疑問に思わずにいられなくなることが時々ありました。無力感や失望感をぬぐい切れず、涙で枕をぬらす夜もよくありました。

そのように落胆していた時期に、読み慣れた聖句がより深い理解をもたらしてくれました。イザヤの言葉を引用し、救い主が「油を注がれて、打ち砕かれた心を持つ者を癒し、囚われ人に自由を宣言し、縛られていた者に獄が開かれることを宣言され[た]」と教えている聖句です(教義と聖約 138:42)。

すさまじい経験によって「心が打ち砕かれた」人々をわたしは大勢目にし、そのような人々と言葉を交わしていました。愛する家族や家や穏やかな生活を失った人々です。それなのに、多くの人々に「癒されている」とうかがわせるものが

わたしたちは皆、
キリストの
贖いによって
心が癒されて
健全になれるという
確かな希望を
持つことができます。

見て取れました。例えば、わたしたちが一時しのぎの住まいに近づくと、その住人に「一緒に祈ってくれませんか」と頼まれることがよくありました。彼らは主に祈ることに幸せと平安を見いだしているようでした。

もちろん、主の贖いの影響はこの人生だけに限られたものではありません。影響は来世にまで及びます。救い主のおかげで死者が贖われ、すべての人に復活がもたらされることを知っています。わたしたちがこの世で経験する苦しみは、どれほどひどいものであっても、贖いを通して取り去られ、癒されるのです。

殺戮と死の蔓延する時代に生きたモルモンとモロナイは、あらゆる理解を超える慈悲と正義を持っておられる、愛に満ちた神への信仰と固く結びついた希望を持つことについて書き残しています(例——モロナイ7:41-42を参照)。このような預言者の言葉を学ぶことで、わたし自身の信仰が強められました。自分たちの努力が役立っているのか疑問を抱いたとき、救い主の恵みこそ究極の救いの力であると確信することができました。わたしたちの最善の努力には限りがあるかもしれませんが、主の力は無限であり、永遠です。

世の中の状況が様々な形の絶望を生み出すことは確かですが、贖い主に癒すことがおできにならないものはありません。わたしたちは皆、キリストの贖いによって心が癒されて健全になれるという確かな希望を持つことができます。この知識を得て、わたしは主の取り組みはいつも成功すると確信しながら仕事を続けることができました。■



わたしたちが
主の言葉と贖いあがなに頼れば、
救い主は傷ついた心や誤解、
憎しみを癒すことが
おできになります。

1978年8月、わたしは韓国
のソウルにおけるステーキ
大会に出席する割り当て
を受けました。神権指導者会の後で
廊下にいると、60歳ぐらいの一人の姉
妹が日本語でわたしの耳に「わたしは
日本人が嫌いです」とささやきました。

わたしはその言葉に驚き、ショックを受
けました。わたしは振り返って日本語で
答えました。「それは大変残念です。」
どんな経験をしたためにそのような
気持ちになったのだらうと思いま
した。わたしの同胞ほらからが彼女の
同胞にどんなひどいことを
したのでしょうか。

ステーキ大会の夜の
部会で、わたしは救い主
の贖いと大いなる犠牲
について話しました。
ステーキの会員たちに



癒しの力

ニーファイの物語を分かち合い、ニーファイが主の御霊^{みたま}によって高い山に連れて行かれたことを話しました。そこでニーファイは父リーハイが見た命の木と幼子イエス^{おきなご}を見ました(1ニーファイ 11:1-20 参照)。それから天使がニーファイに、父が示現で見た木の意味を知っているかと尋ねました。



し始めました。韓国人のいとこが9人いて、一緒に育ったのだと会衆の皆さんにお話ししました。韓国人のいとことわたしたちきょうだいは互いの家をよく行き来していました。韓国料理を食べ、韓国の歌を学びました。わたしのおばがすばらしい韓国人男性と結婚したのです。二人は日本の

ニーファイは答えて言いました。「はい、その木は人の子らの心にあまねく注がれる神の愛です。だから、どんなものよりも好ましいものです。」天使は続けて言いました。「そのとおり。それは人にとって最も喜ばしいものである。」(1ニーファイ 11:22-23)

神の愛により、あらゆる偏見と誤解を克服することができます。わたしたちはまことに神の子であり、望めば神の愛を自らの魂に取り入れることができるのです。

われ 主を愛して
その道進まん
奉仕の業なし
み力悟らん¹

裁きを慎む

予定していなかったのですが、わたしは自分と韓国とのつながりについて話

わたしの育った町で子供たちを育てました。

話の途中で、わたしは韓国で最初のステーキ会長を務めた李虎男^{イホナム}会長と韓国の民謡を歌いたいのでだれかピアノで伴奏してくれるようお願いしました。それから李会長に、少年時代以来歌ったことのない韓国の国歌を一緒に歌ってくれるようお願いしました。韓国人のおじから教わってから長い年月がたっていましたが、歌詞を思い出すことができました。それから、会衆と一緒に歌うよう招きました。全員が立ち上がり、美しい国歌を歌いました。多くの人が涙を流し、わたしも歌うのが難しくなりました。すばらしい雰囲気その場に満ちていました。

わたしはステーキの会員にこう述べました。わたしは韓国人のいとこたちを愛していると同じように会員の皆さんをも愛しています。わたしたちは皆神の子であり福音の兄弟姉妹であるからです。そして神がわたしたちを愛しておられるからです(1ニーファイ 11:22, 25 参照)。

「慰め主キリスト」カール・ヘンリック・ブロック画。
「盲人を癒されるキリスト」サム・ローラー画



まことの弟子となる

「民族や人種について侮辱する言葉や名誉を傷つける言葉が時折会員の間で聞かれるという報告が入っています。皆さんに申し上げますが、自分と異なる民族や人種をけなすような話をする人は、キリストのまことの弟子とは言えません。そのような人はキリストの教会の教えに従っていると言うこともできません。……」

わたしたちは主の教会の会員です。自分や人に対してだけでなく、主に対しても義務を負っています。」

ゴードン・B・ヒンクレイ大管長
(1910 - 2008年)
「さらに親切になる必要性」
『リアホナ』2006年5月号, 58, 60

わたしたちは皆、主の永遠の愛を感じ、会衆のほとんどの人が涙を流しました。わたしは彼らに「わたしは皆さんを福音の兄弟姉妹として愛しています」と言いました。

夜の部会が終わると、ステーキの会員たちがわたしにあいさつしようと長い列を作りました。列の最後には廊下でわたしに話しかけた60歳の韓国人姉妹がいました。彼女は目に涙を浮かべてわたしに謝罪しました。主の御霊が強く感じられました。救い主の翼にある癒しによってわたしたち全員が癒され、平安が会衆に語りかけました。会衆と一つになったと感じました。

おのれの罪、^{とが}
なぜに見えぬか
心を探りて
弱きを悟らん

あなたのメッセージで考えが変わりました

1977年、わたしは七十人定員会の会員に召されました。それ以来、数百のステーキを訪問する特権に浴してきました。ユタ州テラーズビルである神権指導者会の後、大柄な男性がわたしに近づき、耳もとで、自分の兄が第二次世界大戦で戦死したので日本人を憎んでいると言いました。しかし、大会の後、その男性が目に涙を浮かべてわたしのところへやって来ました。喜び、涙しながらわたしを抱き締めました。それは、わたしが自分の改宗談とアメリカの人々への愛について話したのが、彼の心に触れたからでした。

別のときにはアメリカ合衆国ジョージア州であるステーキ大会で、一人の姉妹がやって来て、父親を第二次世界大戦で亡くしたと言いました。しかし、集会の後で次のように言いました。「謝らなければなりません。父が日本人に殺されたので、ずっと心に憎しみ

を抱いてきたのです。」そして言いました。「あなたのお父様も戦死したのに、あなたは後に福音を受け入れ、それによって人生が変わったと話してくれました。そして今では、わたしたちを愛していると言っています。ほんとうに恥ずかしいです。教会で生まれ育ったのに、今まで日本人に対して憎しみを抱いてきたのですから。でも、あなたのメッセージで考えが変わりました。」わたしはこのような経験をたくさんしました。わたしは多くの人々に会ってききましたが、福音のおかげで互いに愛し合い、理解し合うことができているのです。

罪の意識はすべて取り去られた

それから数年たち、わたしはアダム・オンダイ・アーマンを訪問し、その後に関われたファイヤサイドで、その地域の奉仕宣教師のスーパーバイザーから改宗談を分かち合うよう頼まれました。依頼されたとおりに話し、ファイヤサイドに出席していた夫婦宣教師たちに、子供たちを備えて伝道に出し、わたしのような福音を待つ人々の家まで差し向けてくれたことを感謝しました。

皆さんと握手をし、帰る準備をしているときに、スーパーバイザーが口を開きました。「この会を解散する前に、個人的なことですが告白したいことがあります」と言ったのです。正確な言葉は覚えていませんが、おおよそ次のようなことでした。

「御存じのように、わたしは若いときに海兵隊員として従軍し、祖国のために戦いました。その間、多くの日本人兵士を殺し

「モーセと青銅の蛇」の一部、セバスチャン・ブルドン画。
フォトイラストレーション/デビッド・ストーカー



ました。わたしは祖国に忠実に奉仕したと
思っていました。アジア人、特に日本人を見
かける度にひどく気持ちが落ち込むようにな
りました。時には正常に行動できないことも
ありました。教会の指導者と話したり、専門
のカウンセラーに自分の気持ちを打ち明けたり
したこともあります。

今日、菊地長老と姉妹とご子息を目の前に
して、一瞬記憶がよみがえりました。しかし、
それから菊地長老の証と改宗談を聞き、
主と福音に対する愛とわたしたち一人一人
への愛を表明する言葉を聞きました。長老
はアメリカ人とアメリカの兵士を憎んで
いたのに、主の癒しの力を通して福音が
自分の生活を変えてくれたと言いました。
その言葉を聞いたとき、主の声が聞こえたよ
うな気がしたのです。『もう終わったのです。
もう大丈夫です。』

スーパーバイザーは手を広げて高く揚げて、
目に涙を浮かべながら言いました。「罪の意
識はすべて消え去りました。重荷が取り去ら
れたのです。」

彼は歩み寄り、わたしを抱き締めました。
それから、妻たちが近づき、皆で抱き締め合
い、涙を流したのです。

わたしは、主の言葉と贖いに頼れば、救い
主が、傷ついた心や誤解、憎しみを癒すこと
がおできになることを学びました。蛇にかま
れたイスラエルの民を癒されたように（民数

21:8 - 9; 1 ニーファイ 17:41; アルマ

33:19 - 21 参照）、主は同じ方法でわ

たしたちを癒してくださいます。「傷

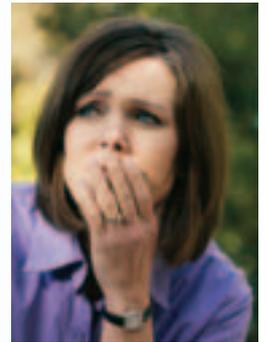
ついた心を癒す」のは「喜びをもた

らす神の御言葉」であり（モルモン書

ヤコブ 2:8）、「彼の鞭の打ち傷によっ

て、わたしたちは癒されている」のです

（イザヤ 53:5; モーサヤ 14:5）。



蛇にかまれた

イスラエルの民を

癒されたように、

主はわたしたちも

癒してくださいます。

「傷ついた心を癒す」のは

「喜びをもたらず

神の御言葉」であり、

「彼の鞭の打ち傷によって、

わたしたちは

癒されている」のです。



互いに愛し合う

「生涯の大半をインドの貧民街で暮らしたカトリックの修道女マザー・テレサは、深遠な真理を語っています。『人を裁いていたなら、愛する時間がなくなってしまう。』救い主はこのようにお教えになりました。『わたしのいましめは、これである。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。』質問します。互いを裁いていながら、互いを愛し合うことができますか。答えはマザー・テレサと同じです。『いいえ、できません。』」

トーマス・S・モンソン大管長
「愛はいつまでも絶えることがない」
『リアホナ』2010年11月号,124

兄弟守りて
その傷癒さん
迷いて疲れし
子羊訪ねん

10分だけです

わたしは日本の北にある北海道という島の小さな村で生まれました。5歳のとき、父がアメリカ軍の潜水艦攻撃で亡くなりました。幼心にアメリカ人に対して敵意が芽生えました。戦争に至った経緯など詳しく知らないまま、わたしはそのような感情を抱いて成長したのです。

中学校を卒業したとき、家族は困窮していました。母にはわたしを高校にやるゆとりがなかったので、わたしは働きながら進学する道を選びました。住んでいた小さな村には仕事がありませんでしたが、家から9時間離れた母のふるさと、室蘭の豆腐工場に就職することができました。

室蘭では毎朝4時半に起き、正午まで豆腐を作って、午後6時まで様々な店への配達をこなしました。仕事が終わると着替え、食事を済ませて、夜間学校まで走って通いました。夜の10時半ごろに帰宅し、11時に床に就きました。このような厳しいスケジュールで、わたしは間もなく疲労困憊^{こんぱい}し、病気になってしまいました。

当時豆腐店の主人の家に住んでいたのですが、わたしは仕事を辞め、おじに頼んで高校の1年を終えるまで同居させてもらうことになりました。薬を飲んででも、具合がよくなりません。わたしは途方に暮れ、絶望し、死ぬかもしれないと思い始めました。それで、熱心に祈りました。「もし神がいらっしゃるのなら、元気になれるように祝福してください。」それから、おこがましくも「もし治ったら、お返しをしますから」と祈りました。

おじの家にいたある夕方、二人の外国人が訪れ、玄関のドアをたたきました。末日聖徒イエス・キリスト教会の宣教師たちでした。一人はアメリカのアイダホ州にあるセントアンソニーで農夫をしていた先輩同僚のロー長老、もう一人はソルトレーク・シティー出身の新任のポーター長老でした。雨が降っていて寒い日で、暗くなってきたので、長老たちはもうアパートに帰ろうとしていました。しかし、なぜか粘り強く家々のドアをたたき続けたのです。

彼らがドアをたたいたとき、わたしは独りでした。わたしは玄関に出て「けっこうです」と断りました。

二人の若者は謙虚で、なかなかあきらめようとしなかったので、もう1度「けっこうです」と繰り返しました。そして「あなたたちアメリカ人が父を殺したんだ」と付け加えました。まだ敵意をぬぐい切れずにいたのです。

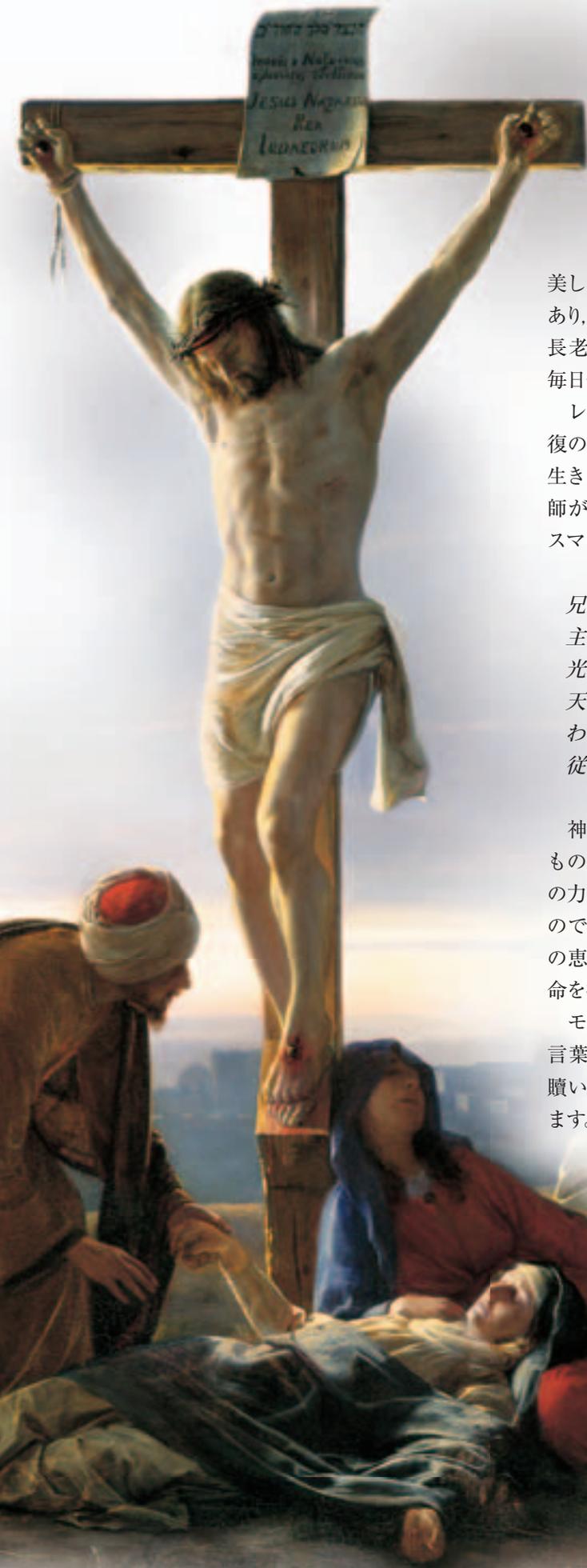
あきらめずに、アイダホ出身の長老がわたしの年齢を尋ねました。わたしは言いました。「年齢が何の関係があるのですか。帰ってください。」

彼は次のように答えました。「あなたと同じ年ごろの少年が、あなたの天の御父とあなたの救い主イエス・キリストを見た話をしたいんです。その話を聞いてほしいんです。」わたしは玄関で、まるで凍ったように立ちすくみました。

わたしは「10分だけです」と言いました。

この10分がわたしに深い感動を与え、人生を変えることになったのです。宣教師たちが分かち合ってくれた話は非常に深遠で

「十字架のはりつけ」の一部、カール・ヘンリック・ブロック画。
デンマーク・ヒレズにあるフレズレクスボーにある国立歴史博物館の厚意により掲載。
フォトイラストレーション/デビッド・スターカー



美しいものでした。わたしは自分が神の子であり、神のもとからやって来たことを知りました。長老たちは病気で家にいるわたしのところへ毎日やって来ました。

レッスンを通して宣教師たちは輝かしい回復の福音を教えてくださいました。福音が希望と生きようとする決意を与えてくれました。宣教師が訪れてから2、3週後にわたしはバプテスマを受けました。

兄弟愛して
主にならい行き
光と力を
天より受けん
われ主に仕えて
従い行かん

神の癒しの力は崇高であり、深遠で美しいものです。主の憐れみと愛と奇跡的な癒しの力に感謝します。救い主の贖いが現実のものであることを主に感謝します。贖いは、主の恵みにより「罪を洗い清め、癒し、永遠の命を受ける力をもたらします。」²

モルモン書でアルマがゼズロムに語った言葉が真実であると証します。「キリストの贖いを信じるならば、あなたは癒しを得られます。」(アルマ15:8) ■

注

1. 「われ主を愛して」『賛美歌』134番
2. L・トム・ベリー「人々をわたしのもとに連れ
てきなさい」『リアホナ』2009年5月、110



神の癒しの力は
崇高であり、
深遠で美しいものです。
主の憐れみと愛と
奇跡的な癒しの力に
感謝します。

大いなる 聖徒の共同体

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員は、様々な国に住み、多種多様な職業や召しに従事し、多くの異なった問題に直面しています。

しかし救い主とその福音は問題の解決策を与え、愛と、共通の目的においてわたしたちを結び合わせ、世界規模の共同体を作り上げています。

ウクライナの小さな支部で13人とともに集うときも、メキシコのワードで200人とともに集うときも、皆さんははるかに大いなる共同体に属しているのです。共通して抱いている救い主への信仰によって、わたしたちは文字どおり「もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者であり、神の家族」なのです（エペソ2:19）。

この記事（また、毎月の教会機関誌）に登場する世界各地の隣人について知るとき、皆さんが自身の課題に立ち向かううえで必要なものをイエス・キリストの福音から得られるという確信を抱けるようにと願っています。





ビーガ・ファアトイア
(サモア)

60歳
市長
ビショップリック第一顧問



ルシア・レオナルド
(グアテマラ)

23歳
学生
ステーキ若い女性会長会第二顧問

2009年9月にサモアを襲った津波で、わたしは孫を失いました。姉の息子の命も奪われました。わたしは家と2台の車、そしてほとんどの所有物を失いました。村のほとんどの人が、二度とこのような被害を受けないように小高い地域に移住しつつあります。

わたしは、神が生き延びた人々を愛しておられることを知っています。なぜなら、教会を通して、新しい家や食料、水を与えてくださったからです。わたしは、神が生き延びられなかった人々を愛しておられることを知っています。なぜなら、主の力を通して、再びともに暮らせるからです。わたしたちは祝福されています。

わたしが直面する問題は、同世代のだれにでも共通するものです。人生をどのように生きていけばよいのだろうか。何を勉強すればよいのだろうか。だれと結婚すべきなのだろうか。教会員でない友達から標準を下げるように圧力をかけられたら、どのように対処すればよいのだろうか。落ち込んだり、悲しんだり、あるいは緊張したりしてしまいがちです。

福音は、あらゆる点で人生に指針を与えてくれました。こまごまとしたことについては自分で答えを見つけていく必要がありますが、福音のおかげで、自分が何を望み、どこに向かおうとしているかを知っています。そのことに感謝しています。おかげで、ほんとうに幸せです。福音によって、わたしは強くあり続けることができ、人を助けることができます。助けが必要なときには、天の御父に祈ることができるを知っているからです。



バレリナ・M
(アメリカ合衆国、ユタ州)

10歳

お姉ちゃんにいるのは簡単ではありません。時々いらいます。でも、お母さんが自分の姉妹と仲良くしているのを見て、わたしも妹や弟の良い友達になれるようになりました。お母さんは、周りの人にキリストのような模範を示すように教えてくれます。わたしはきょうだいと仲良くしたり、キリストのような模範を示したりすることで、天のお父様とイエス・キリストの愛や、お父さんやお母さんの愛にどれだけ感謝しているかを示すことができます。



エリザベス・カンゲス
(ケニア)

27歳
フリージャーナリスト
ワード扶助協会会長

福音を受け入れる前には、わたしは暗い人生を歩んでいました。なかなか人を救せず、不当な扱いを受けたと感じると、だれに対しても苦々しい思いを抱き続けていました。周囲にいる酒飲みの夫たちと暴力を受けている妻たちを見て、結婚に幻滅していました。

でも、イエス・キリストの福音を喜んで受け入れることによって、わたしは変わりました。教会に行くと家族がともに座っている姿を見たり、愛や互いに敬い理解し合うことについて教えを受けたりするのはすばらしいことでした。やがてわたしは、自分が福音と相いれない習慣を捨て始めたのに気づきました。

以前は敵視していた人とも仲直りしなければならぬと強く感じました。今では、よく連絡を取り合う仲間になっています。わたしはすばらしい帰還宣教師と出会い、間もなく神殿で結婚する予定です。

わたしは今、自分が正しい場所にいるという確信があります。会員が互いに愛し合い、関心を寄せ合っている姿を見ると、自分も仲間の一人名ののだと感じます。わたしの生活はもっと意義深いものになりました。過去を振り返って嫌なことを思い出したりせず、悔恨の情にとらわれたりするのをやめることによって最後まで忠実であり続けることが、間違いなく不可欠であることを知っています。



ハリソン・ランバマ
(ザンビア)

46歳
非政府慈善団体役員
地方部会長

収入の範囲で何とかやり繰りすることが、わたしの生活で最も大きな試練の一つでした。収入に比べて生活費が高かったためです。家賃の支払いは迫るし、食料は底を突きかけているし、子供たちの授業料もあるし、毎日お金のことはばかりにあくせくしていました。

今は福音を知っているおかげで、数々の問題があっても落ち着いた気持ちでいられます。戒めと聖約を守ることで、いろいろな事柄に耐えられています。自分の一の律法を守ることにより、天の御父は、わたしたちが決して飢えることがないように祝福してくださいました。主の憐れみによって、人生の障壁を乗り越えてくることができました。人生の危機に当たって、福音は慰めとなり、癒しとなりました。福音のおかげで、従順で忠実であるなら、もっと良い未来が待っているという希望が与えられました。

どんな試練に直面しても、福音から答えを得ることができました。福音がなかったら、わたしは人生に方向性も目的も持てないままだったでしょう。





バーバラ・バク
(ロシア)

25歳
学生
セミナー教師

わ たしはもっとキリストのようになりたいです。完全になることは期待していませんが、自分が何者であるかを覚え、昨日よりも進歩したいのです。周りの世界の標準がとても低いので、そのような目標は難しいです。そのような標準は簡単に忘れてしまう可能性があります。

でも、教会の標準を守り続けることはある意味でそれほど難しくありません。高い標準を持っている人は人々から高く評価されます。わたしはいつも、たばこも酒も飲まず道徳的な人たちが好きでした。ですから、教会について学び始めたとき、わたしはすでに福音の標準にかなり従っていましたが、戒めに従っていただけでなく、^{あかし}証を得ることができました。



チョエウン・モニラク
(カンボジア)

18歳
若い男性会長会第一顧問、
セミナー教師

わ たしたちは皆、人生で予期しない問題に直面します。わたしたち家族が香港神殿で結び固めを受けて帰って来た後、姉の一人が伝道に出る直前に兄と姉が失業し、父の給料も半分になってしまいました。小さな家に11人で住んでいたわたしたちにとっては大変な時期でしたが、神殿で交わした約束を忠実に守り続けました。

そのようなとき、聖霊がある聖句を思い出させてくださいました。「富を求める前に神の王国を求めなさい。」(モルモン書ヤコブ2:18) この聖句のおかげで希望がわいてきました。神がわたしや家族を祝福してくださいに違いないと確信しました。

今では兄と姉が仕事を見つけられたおかげで、家族は食べることには困らなくなりました。わたしも幾つか面接を受け、手ごたえがありました。この奇跡によって、わたしたち家族のキリストへの信仰は強められました。主がわたしたちを御存じであり、愛しておられることを知っています。主はわたしたちの必要をも御存じなのです。もしわたしたちが主の戒めを守るなら、この地で栄えるでしょう(モーサヤ2:22 参照)。■



「愛はいつまでも絶えることがない」——

扶助協会についての ディスカッション



十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老と妻のパトリシア・T・ホランド姉妹が、扶助協会の役割についてそれぞれの考えを述べています。

パトリシア・T・ホランド姉妹は、教会機関誌のスタッフのインタビューに答えて、扶助協会の大切さについてこのように答えています。「扶助協会の生活など、わたしには想像できません。それは、福音のない生活が想像できないからです。わたしは扶助協会で、福音について個人的に大変多くのことを学んできました。」

ホランド姉妹と夫のジェフリー・R・ホランド長老は二人とも、自らの生活の中で福音の力を認めています。二人はまた、堅固な家庭を築くうえで扶助協会の影響を受けてきたことに感謝しています。「扶助協会はこれまで常に、教会にとって力となってきました」とホランド長老は語ります。「扶助協会は、教会の発展の各段階において、絶えず必要を満たす助けをしてきました。生活の中で数々の困難に見舞われる今日、扶助協会の貢献はさらに心を打つものになってきています。扶助協会はただのプログラムではありません。それは福音です。この教会のたぐいまれな女性たちが生活で実践している福音なのです。この困難な時代にあって、扶助協会が、会員、さらには教会全体に対して、まさに今必要とする助けを提供してくれることがよく分かります。」

ホランド長老とホランド姉妹は、扶助協会について、また

神権指導者と扶助協会指導者がともに働くときに家族やワードあるいは支部に生まれる力について、それぞれの考えを述べています。

信仰と家族を強めるうえで、扶助協会はどのような役割を果たしますか。

ホランド姉妹 —— 今日、世の中でわたしたちが直面する数々の問題のために、扶助協会がかつてないほど必要とされています。教会の女性たちにとって、義にかなった忠実な女性となり、御霊みたまに近い生活をする必要性がさらに増しています。そして信仰を保ち養うために、お互いを必要としています。

ホランド長老 —— 扶助協会は、女性特有の影響をもつて、独特で力強い方法で福音を教える助けをしているのです。扶助協会は、女性の生活に福音の教義や価値観をもたらす手段の一つです。しかし福音の原則は性別にとらわれないことを忘れないでください。愛、慈愛、憐れみあわは、力、指導力、決断力などと同様に、いずれも福音の徳に数えられます。すべての人は男性も女性も同じように、これらの徳をできるかぎり多く身に付けるようにしなければなりません。

福音の道を歩むわたしたち一人一人が神の息子であり娘なのです。会員一人一人が、堅固な岩のように確固としていなければなりません。どんな組織もそこに属する人々より強くなることはできません。どの家庭もその堅固さは、その基となる家族一人一人がどれだけ堅固であるかにかかっているのです。

ホランド姉妹 —— 末日聖徒として、神殿や、ワードあるいは支部、結婚生活、家族の中で享受しているすべての祝福について考えるとき、結局は、教会においても家庭においても、神権組織と扶助協会、男性と女性がい



女性や家族が
直面する問題に対して、
将来、世界で扶助協会以上に
助けになる組織は
ないでしょう。

パトリシア・T・ホランド



かに協力して働くかにかかっていることに気づきます。

ホランド長老 —— 女性は毎週扶助協会から家庭に帰り、学んだことを生活の中で男性と分かち合います。わたしと息子たちが受けてきた神権の教を分かち合うことで、妻や娘たちもまた同じように、これまで何年にもわたり祝福を受けてきました。

ホランド姉妹 —— 女性や家族が直面する問題に対して、将来、世界で扶助協会以上に助けになる組織はないと言えるでしょう。特に、家族が崩壊しつつある現代の世の中で、子供の幸福を守る指導者としての召しに教会の女性を呼び集める必要があります。この業を成し遂げられるように、手を取り合って、ともに進まなければなりません。

扶助協会はお二人とご家族をどのように強めてきましたか。

ホランド姉妹 —— わたしが扶助協会から影響を受け始めたのは、生まれる前です。母も祖母も扶助協会に奉仕しましたから。子供のころ、わたしは二人から学びました。二人のようになりたいと思っていました。二人はわたしに、曾祖母エリザベス・シュミツ・バーロッカーについて話し

てくれました。彼女は40年にわたって扶助協会会長として奉仕しました。食べる物や着る物をはじめ、持てるすべてを教会の姉妹たちに与えました。曾祖母は、この奉仕の業にあって神が守り、祝福してくださるという信仰を抱いていました。そして実際にそのようになりました。この3人の女性の模範と、扶助協会での奉仕は、今もわたしを奮い立たせてくれます。

ホランド長老 —— わたしは扶助協会に出席したことはありませんが、扶助協会の影響を受けながら育ちました。母は、わたしが10代だった間ほとんどずっ

と、ワードの扶助協会会長として奉仕しました。若い男性として、そのような母の姿を見るのは素晴らしい機会でした。確かに、このような祝福が先祖からわたしたちに受け継がれ、子供や孫を祝福しています。

しかし、扶助協会についてのわたしの証は、妻を通して得られたものでもあります。かつて扶助協会会長として奉仕した妻がいることを、誇りに思います。彼女の献身のおかげで、わたしは直接祝福を受けてきました。わたしがパトリシア・テリーと結婚したとき、彼女がどのような女性であるか知っていました。どのように主に仕えるかを見ていたからです。彼女は喜んで、王国における責任を受けました。わたしにとって偉大な英雄でした。これらの価値観や徳は、今わたしたちの結婚生活や子供たちを祝福しています。さて、わたしは扶助協会から祝福を受けてきたでしょうか。まさにそのとおりです。

神権指導者や補助組織の指導者は、ワードや支部を強めるために、どのように協力して働けるでしょうか。

ホランド姉妹 —— 扶助協会は、神権の規範に倣って組織されました。このことは、神権組織と扶助協会の間に見

事なまでの類似点があることを示しています。また男性と女性はお互いの内にある義の力を強め合うという考え方を裏付けてくれます。男性には女性を通して得られる祝福が必要であり、女性には男性を通して得られる祝福が必要です。神殿では、そのことを大いに学びます。より多くの神権指導者や補助組織指導者がともに働くならば、ワードや支部はさらに強められるでしょう。わたしたちは、これまでに住んだどの地域でも、ワード評議会の力を見てきました。

男性と女性は皆、キリストの体に属する者です。キリストの体の一部であるという



「扶助協会が
常に基としてきたのと
同じ技術や考えには、
世界中の人が直面する課題への
答えがたくさんあります。
『愛はいつまでも絶えることがない』
という旗の下に、
全人類が一つになることが
できます。」

ジェフリー・R・ホランド長老

のは、何とすばらしいことでしょうか。聖文では、「もしもあなたがたが一つでなければ、あなたがたはわたしのものではない」(教義と聖約 38:27)、また「目は手にむかって、『おまえはいらない』とは言えない(1コリント 12:21)と教えられています。

ホランド長老——現代の複雑な問題に、ワードや支部の指導者は協力して取り組む必要があります。ビショップはワードを導くための神権の鍵かぎを持っています。ワードや支部の評議会集会は、必要な調整を行う場です。評議会がよりよく機能すれば、教会もよりよく機能します。これはすべてのワードや支部に言えることです。

ビショップはワード評議会集会を、ワードのほかの指導者とともにワードの必要を分析する時間として活用することができます。物質的な助けが必要な会員はいないだろうか。若い男性は伝道に出る準備をしているだろうか。夫婦は神殿に行けるように備えているだろうか。ワード評議会としてどのような助けができるだろうか。

一人の母親の心配事は、その子供や夫の必要と切り離せないことを忘れないでください。扶助協会会長は、訪問教師を通して、会員個人の必要だけでなく家族全体の必要を

知ることができます。訪問教師から得られる情報は有力であり、ワード評議会でも議題として採り上げることができます。

扶助協会は、教会が21世紀の問題に対処するうえでどのような助けができるでしょうか。

ホランド長老——現在全世界を覆っている不況によって、世界経済は一変してしまいました。しかし、福祉と賢明な生活の原則を教えることは、これまでも常に扶助協会の役割の一つでした。世の中の人々は、21世紀に果物を瓶詰めにしたり、キルトを作っ



たりするのは時代遅れだと考えるかもしれませんが。しかし、今も飢えや寒さに苦しむ人がいます。そのような人にとっては、瓶詰めびんづめの果物や温かいキルトが文字どおり天の恵みとなるのです。賢明な生活が時代遅れになることは決してありません。賢明な生活を送ることは19世紀への後退ではなく、21世紀を突き進んで行くために必要な指針なのです。扶助協会が常に基としてきたのと同じ技術や考えには、世界中の人が直面する課題への答えがたくさんあります。

「愛はいつまでも絶えることがない」という旗の下に、全人類が一つとなることができます。これはプログラムではなく、福音の高らかな呼び声です(1コリント 14:8-10 参照)。福音はいつまでも絶えることはありません。ですから、「愛はいつまでも絶えることがない」という言葉が扶助協会のモットーに掲げられているのは実にふさわしいことです(1コリント 13:8)。扶助協会のモットーは、末日聖徒の男女が、キリストの弟子となるよう努めるという共通の目標を目指しているという事実を強化するものです。

風が吹くなら、吹かせましょう。嵐あらしが来るなら、来させましょう。どんな疑問にも、常に福音が答えとなります。真理



は常に勝つのです。わたしたちはイエス・キリストという岩の上に建てられています。そして、主の堅固な岩を基とした福音こそが、わたしたちが困難を切り抜けるよう助けてくれるのです。

ホランド姉妹——すべての女性の心には、助けが必要な人に仕えたいという望みが宿っていると思います。年齢や結婚しているかどうかは関係ありません。扶助協会は、奉仕する絶好のチャンスを提供します。助けが必要な人は常に存在するからです。同じように、すべての女性が、いずれは奉仕を受けなければならない立場になるでしょう。真に、「愛はいつまでも絶えることがない」という原則は、力強いメッセージを携えた永遠の原則であり、だれでもそれに従って生活できます。

ホランド長老——扶助協会の奉仕は、教会員への奉仕に限られていないことを忘れないでください。わたしたちは皆、自分のことは自分で行おうと努力しますが、扶助協会の偉大な姉妹のつながりと、中でも特に思いやりに満ちた奉仕に、境界線はありません。そのおかげで異なる信仰を持つ隣人を助けたり、町の学校を援助する活動に加わったり、地域の環境をきれいで安全に保つために支援したりすることができます。

将来、扶助協会はどのような役割を果たすことになりますか。

ホランド姉妹——将来、扶助協会が非常に重要な役割を果たすことは明らかです。世の中が暗くなればなるほど、福音の光はますます明るく輝きます。扶助協会は、姉妹たちに福音の教義を教えるうえで鍵となります。中でも最も重要なのは、天の御父である神がその独り子イエス・キリストを地上に遣わされたことを教えることです。主の贖い、復活、そして模範は、わたしたちに主への信仰を持ち、悔い改め、聖約を交わし、互いに愛し合うように教えています。イエス・キリストは、決して絶えることのない光——暗闇

ワード評議会——指導者がともに働く場所

ワード評議会は、ビショップリック、ワード書記、ワード幹部書記、大祭司グループリーダー、長老定員会会長、ワード伝道主任、および扶助協会、若い男性、若い女性、初等協会、日曜学校の各会長によって構成される。……

評議会の構成員は、……率直に発言することが奨励されている。男性も女性も、自分の意見が評議会の全構成員に尊重されていると感じるようになるべきである。……女性の視点は男性と異なることがあり、……重要な見解を与えてくれる。……

ワード評議会集会では、個人や家族を強める事柄に焦点を当てる。】(『手引き 第2部——教会の管理運営』〔2010年〕4.4:4.6.1)

を貫き通す明るい光であられます。

ホランド長老——マタイ7:16にはこうあります。「あなたがたは、その実によって彼らを見わけるであろう。」例えば、我が家の子供たちはごく幼いときでも、母親が福音に一生懸命な姿や、福音の中で女性が果たす役割に気づくことができました。母親が扶助協会の姉妹たちに仕えるとき、子供たちはよくその傍らにいました。時には我が家の古い車がちゃんと動くよう祈らなければならないこともありました。母親が古いコートに身を包んで雪の中を苦勞して歩き、ニューイングランドの扶助協会の姉妹たちを世話する姿を子供たちは見ていました。まだほんの子供でしたが、彼らはそのことを決して忘れませんでした。母親の犠牲と忠実さを見て育った結果、娘は献身的に奉仕する末日聖徒の女性に成長し、息子たちも、自分たちの妻の決意と献身に対して深い尊敬と感嘆の念を抱くようになりました。彼らの人生や神の王国において女性が重要で高貴な立場にいることを我が家の子供たちが知っているのは、母親の模範によることは明らかです。

同様に、末日聖徒が生活の中で見せる模範に、周りの人が目を向けつつあります。わたしたちが生ける神の弟子になろうと努力するとき、模範という実を

結ぶことができるのです。その輝きは決して暗くなることはありません。福音が光り輝いているので、扶助協会の未来は明るいのです。神の王国の光は、決して消えることはありません。人の需要が増すにつれて、福音の呼び声は真実として響き渡るでしょう。福音のメッセージを広め、慈愛に満ちた働きをする人々の最前線には、教会の義にかなった神権者と扶助協会の女性たちが並ぶでしょう。■

このインタビューは、教会機関誌のラリーン・ガントとジョシュア・パーキーが担当しました。

中央扶助協会会長
ジュリー・B・ベック



家族の教義を教える

わたしは世界のあちこちでヤングシングルアダルトに会うと、こう尋ねます。「大管長会がこれほど皆さんを心にかけ、これほど多くの資財を皆さんに投じているのはなぜでしょうか。」するとこんな答えが返ってきます。「わたしたちは教会の将来の指導者だからです。」「強くあるには訓練が必要だからです。」「^{あかし}セミナーやインスティテュートのクラスに出ると証が強くなるからです。」「立派な末日聖徒の若人と出会う必要があるからです。」「わたしたちは未来への希望だからです。」次のような答えを聞いたことはほとんどありません。「それは、いつの日か優れた父親、優れた母親になるためです。」ヤングシングルアダルトの答えはおおむね自分のことだけです。そういう年代なのです。

しかし、若人の親や教師、指導者は、若者たちに家族の教義を教えなければなりません。それは、永遠の命を得させるために不可欠です（モーセ1：39 参照）。彼らは家族に関する教理が創造と墮落、贖いに基づいていることを知る必要があります。家族を脅かすものが何かを理解して、自分たちが何と戦っているのか、何に備えることができるのかを知る必要があります。完全な福音は神殿の儀式と聖約の中にあるということを、はっきりと理解する必要があります。

家族に関する教理

末日聖徒イエス・キリスト教会には、創造と墮落、贖いに基づく家族の教理があります。地球の創造によって、家庭生活を可能にする場が与えられました。神は、家族になくならない等しい存在として男と女を創造されました。アダムとエバが結び固められて永遠の家族を構成するのは、天の御父の計画の一部でした。

墮落の結果、家族が成長する道が備えられました。アダムとエバは家族を指導する者であり、現世での生活を選びました。墮落によって、彼らは息子、娘をもうけられるようになりました。

贖いによって、家族を永遠に結び固められるようになりました。贖いのおかげで、家族は永遠に進歩し、完全になることができます。幸福の計画あるいは救いの計画とも呼ばれる計画は、家族のために作られた計画です。若人は、この教会の教理の柱が家族であることを理解する必要があります。

永遠の命の祝福を受けるにふさわしくなるということは、永遠の家族の祝福を受けるにふさわしくなるということです。それはキリストの教義であり、預言者ジョセフ・スミスによって回復されました。

今の世代の人々は、かつてなかったほど、家族の教義を擁護する必要に迫られるでしょう。家族の教義を知らなければ、それを擁護することはできません。



わたしたちには、
創造と墮落、^{あがな}贖いを
基にした
家族に関する
教理があります。



教義と聖約第2章1節から3節には、次のように記録されています。

「見よ、主の大いなる恐るべき日が来る前に、わたしは預言者エリヤの手によってあなたがたに神権を現そう。

彼は先祖に与えられた約束を子孫の心に植え、子孫の心はその先祖に向かうであろう。

そうでなければ、主の来臨の時に、全地はことごとく荒廃するであろう。」

この聖句は、神殿の祝福、つまり神殿の儀式と聖約のことを言っています。神殿の儀式と聖約がなければ「全地はことごとく荒廃する」のです。

「家族——世界への宣言」は、家族が創造主の計画の中心であることを再度強調するために書かれました。¹ 家族がなければ、計画もありません。現世で生活する理由もありません。

家族を脅かすもの

わたしたちは家族の教理だけでなく、家族を脅かすものも理解する必要があります。そうしなければ、戦いに備えることができません。わたしたちの周りには、家族が大切にされなくなっている証拠がたくさんあります。結婚する人の割合は減り、結婚年齢は高くなり、離婚率は上昇しています。婚姻外の出産が増えています。墮胎も増加し、墮胎が合法化される地域が増えています。出生率は下がってきています。男女の不平等な関係も目

にします。家族関係において、今なお虐待が行われる文化もあります。多くの場合、家庭よりも仕事が優先されています。

多くの若人は、家族を築くことに自信を失いつつあります。教育を重視するあまり、永遠の家族を築くことを二の次にするようになってきているのです。多くの若人は、家庭を築くことが信仰に基づく行いだと考えていません。買い物のような、選択肢の一つでしかないのです。また、多くの若人は、自分にも同年代の仲間にも道徳的な強さがないと思っています。誘惑がとて強いため、聖約を守る自信がありません。

家族を脅かすものの一つである離婚が増えています。



また人付き合いや社交性に乏しいことも、多くの若者にとって、永遠の家族を築く妨げになっています。遠く離れた人との交流はどんどん上手になっているのに、同じ部屋にいる人と会話する能力はますます低下しています。そのため、人付き合いが難しくなっています。

また、エペソ人への手紙に書かれている問題もあります。エペソ人への手紙第6章12節です。「わたしたちの戦いは、血肉に対するものではなく、もろもろの支配と、権威と、やみの世の主権者、また天上にいる悪の霊に対する戦いである。」家族をないがしろにする社会政策が毎日作られ、家族の法律上の定義が世界中で書き換えられています。ポルノグラフィは氾濫しています。ポルノグラフィを作る側の人々は、新たな利用者層として若い女性に焦点を当てています。親は無能で役に立たない存在とされています。メディアは反家族的なメッセージを所かまわず流しています。若人は永遠の家族を作る必要を感じなくなってきました。

反キリストであるコリホルの言葉を読むと、このことがどのようにして起こるのかが分かります。「彼は民にこのように説いて、多く

の人の心を惑わし、平然と悪事を犯させ、まことに、多くの男女を惑わしてみだらな行いをさせた。」(アルマ30:18) サタンは自分が決して肉体を持ってないことを知っています。絶対に家族を持ってないのです。だからこそ、将来の世代をこの世に送り出す若い女性に目をつけているのです。

コリホルは反キリストです。反キリストとは、反家族ということです。教会の若人が聞く世の原理や原則で反家族的なものも、すべて反キリストであることは明らかです。モーサヤ書第26章に描かれている民のように先祖の義にかなった言い伝えを信じず、救いの計画における自らの役割を理解しなければ、この教会の若人は道に迷ってしまう恐れがあります。

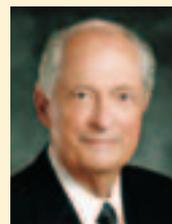
若人を教える

皆さんは若人に教える事柄を通して、何を理解し、何を行うようになってほしいと望んでいますか。この質問の答えは、家族の教義の重要な要素とともに、家族の宣言の中にあります。ゴードン・B・ヒンクレー大管長(1910 - 2008年)は、この宣言は、教会が常に持っていた「家族にかかわる標準と教義とその運用についての宣言を再確認するものです」と言っています。²

エズラ・タフト・ベンソン大管長(1899 - 1994年)は次のように言いました。

若人の指導者と

教師はもちろんのこと、親は、
聖文や家族への宣言に書かれている
家族の教義を
若人に教えるべきです。



家族は永遠に

「家族は、この世で偶然にできたものではありません。家族は、世界が造られる前に、組織的な単位として天に存在していたの

です。歴史的に見ると、創世記の記録にあるように、地上ではアダムとエバから始まりました。アダムとエバは、主によってこの世と永遠にわたる結婚をし、結び固められました。そして、その結果、彼らの家族は永遠に存在することとなったのです。」

十二使徒定員会 ロバート・D・ヘイルズ長老
"The Family: A Proclamation to the World,"
ドーン・ホール・アンダーセン編,
Clothed with Charity: Talks from the 1996
Women's Conference (1997年), 134で引用

「家族を統治するこの位を通して、男女はちょうどアダムとエバのように、永遠の結び固めを受け、子孫を得[る]ために、神との聖約に入ります。……この神権の位は、わたしたちがいつの日か神の御顔^{みかお}を見て生きることができるようになるための唯一の手段[なのです。]」³

若人たちは、「生めよ、ふえよ、地に満ちよ」という戒めが今も有効であることを理解する必要があります(創世1:28; モーセ2:28)。子供をもうけることは、信仰に基づく行いです。スペンサー・W・キンボール大管長(1895 - 1985年)は、「結婚した夫婦が健康であるにもかかわらず、子供をもうけようとしなないのは、きわめて身勝手な行為である」と言っています。⁴ 母親の務めと父親の務めは永遠に続く役割です。男性にも女性にも、計画の中で半分ずつ与えられた責任があります。青年期は、この永遠の役割と責任を担う





教師の皆さんへ

「皆さんがまず関心を払うべきこと、皆さんの最も大切な、また唯一の義務は、この末日に啓示されたままに、主イエス・キリストの福音を教えることです。皆さんは自らの権威の拠り所として、教会の標準聖典と、この末日に主の民を導くように神より召された人々の教えとを使って、この福音を教えなければなりません。」

J・ルーベン・クラーク・ジュニア管長(1871-1961年)
大管長会第一顧問

『教育に関する教会の指針』改訂版(1994年), 12-13;
『福音を教える——教会教育システム教師ならびに指導者用手引き』(2001年), 4も参照

ための準備期間です。

親と教師と指導者は、若人たちがアブラハムの祝福を受ける備えができるよう助けることができます。アブラハムの祝福とは何でしょうか。アブラハムはアブラハム書第1章2節でわたしたちに語っています。アブラハムは「〔自分〕が聖任されるべき……権利」を得ようと望みました。そして、「多くの知識を持つ者となり……多くの国民の先祖、平和の君となることを望み、また数々の指示を受け、神の戒めを守ることを望んだので、先祖に属する権利を持つ正当な相続人、大祭司となった」と言っています。

アブラハムが受けた祝福はどこにあるのでしょうか。それは、神殿で結び固められ、結婚した人にだけ授けられます。男性は、妻と結び固められなければ、「多くの国民の先祖」となることができません。同様に、アブラハムは、母親に属する権利を持っていた妻を持つことなしに、先祖に属する権利を持つことはできませ

んでした。

アブラハムとサラの話、イサクとリベカの話は、創世記に出てきます。アブラハムとサラには、イサクというたった一人の子供がいました。アブラハムが「多くの国民の先祖」となるのだとしたら、イサクの妻リベカが果たす役割はどれほど大きいものだったことでしょうか。その役割が非常に重要だったために、アブラハムは何百キロも離れた所まで僕を遣わして、ふさわしい若い女性、すなわち聖約を守る女性、永遠の家族を築くというこの意味を理解している女性を探させました。

リベカは創世記第24章60

節で、「ちよろずの人の母」となるという祝福を受けています。このような祝福はどこで得られますか。神殿です。

イサクとリベカの話は、鍵を持つ男性と影響力を持つ女性が力を合わせて祝福を成就させる好例です。イサクとリベカの話はなくてはならないものです。イスラエルの家の祝福が実現するか否かは、永遠の家族を築いて子供を産み教育するという責任を男女が理解しているかどうかにかかっています。

今日、わたしたちには、家庭やクラスから「イサク」と「リベカ」を送り出すという責任があります。

すべての若い女性と若い男性は、この偉大な協力関係にお

わたしたちは若人に
神殿に入る備えをさせ、
永遠の家族を築く
準備をさせています。





「家族——世界への宣言」を活用する

- 宣言のコピーを家庭または教室の壁に掛ける。
- 宣言のコピーを自分の聖典に挟んでおくよう若人に勧める。
- 聖文から教えるレッスンで、宣言にある重要な言葉を使う。
- 家庭の夕べで、宣言を研究したり参照したりする。

けるそれぞれの役割を理解し、自分が「イサク」であり「リベカ」であることを理解するべきです。そうすれば、なすべきことがはっきりと分かるでしょう。

永遠の命の望みを与えるような生活をする

親と教師、指導者の皆さん、家庭、家族、夫婦の間で生きた模範となってください。皆さんを見る若人たちが、永遠の命への望みをはぐくめるような生活をしてください。皆さんがそのように生き、非常に分かりやすく教えるなら、その教えは、若人を惑わすあらゆるメッセージを遮断し、若人の心を貫き、感動させることでしょ

う。家庭において基本的な原則を心から忠実に実践してください。家庭における役割と責任を一生懸命に果たしてください。完全を求めず、ただ熱心であるようにしてください。皆さんが目標を持ち、目標に向かってきちんと努力しているならば、若人は皆さんから学ぶことでしょ

わたしが確信していること

わたしたちは若人に神殿に入る備えをさせ、永遠の家族を築く準備をさ

せています。若人はいろいろな脅威にさらされており、永遠の家族を築く望みを失ってしまいがちです。わたしたちには、誤解のないように教える役割があります。「家族——世界への宣言」にある教義の要点を分かりやすく、明快に教えなければなりません。

今の若人の世代は、かつてないほど家族の教義を擁護する必要に迫られるでしょう。教義を知らなければ、擁護することはできません。神殿と神権を理解する必要があります。

キンボール大管長はこう言っています。

「過去において家族の結束を強めるうえで少なからぬ働きをしていた社会規範というものが、次第に影の薄い存在となってきています。悪の力が押し寄せる中で、家庭の価値を深くまた積極的な気持ちで信じている人だけが自分の家庭を守ることができ、そのような日が訪れるに違いありません。……

……中には歴史的な背景などをことごとく無視し、家庭などというもののはもはや存在しないのだといった奇抜な説を持ち出す人もいます。……

兄弟姉妹の皆さん、家族という単位は社会の発達のある段階で見られる現象だとするもっともらしい議論にわたしたちは皆、欺かれないようにしなければなりません。家族の重要性を無視し、逆に利己的な個人主義の価値を前面に押し出そうとするこうした動きに対して、わたしたちは抵抗す

る自由を持っています。わたしたちは家族が永遠のものであることを知っています。」⁵

イエス・キリストの福音は真実です。この福音は預言者ジョセフ・スミスによって回復されました。今日わたしたちには完全な福音があります。わたしたちは天の両親の息子娘です。地上で経験を積んで永遠の家族の祝福にあずかれるよう、天の両親はわたしたちを地上に送られました。イエスは救い主キリストであられることを証します。キリストの贖罪により、わたしたちは完全な者となることができ、地上での家族の責任を果たす力を得られるのです。キリストの贖罪のおかげで、家族で永遠の命の約束にあずかれるようになるのです。■

2009年8月4日放送のセミナー・インスティテュートの教師を対象とした説教より。

注

1. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2004年10月号、49参照
2. ゴードン・B・ヒンクレイ「世の策略に対抗して立つ」『聖徒の道』1996年1月号、113
3. エズラ・タフト・ベンソン「神殿について子供たちに教える」『聖徒の道』1986年4月号、5
4. スペンサー・W・キンボール「悪に対して家庭を堅固に築く」『聖徒の道』1979年10月号、5
5. スペンサー・W・キンボール「家族は永遠に」『聖徒の道』1981年4月号、3

ついに教会を見つけました

空しさを感じながら過ごした人生の大半、わたしは何か固く信じられるものが欲しいと思っていました。自分が探しているものは、ひょっとして、教会で見つかるのではないかと思い、ずいぶん若いころから幾つもの宗教や哲学について調べました。その多くは良いものでしたし、信じている人たちも立派な人ばかりでした。中には風変わりなものもあり、自分の求めているようなものが得られないこともありました。

何年も探し回った挙げ句、疲れ果てて意欲を失い、あきらめてしまいました。だれにも頼ることなく神様との関係を築き、組織された教会は避けようと心に決めました。

そのような決心をしてからしばらくたって、わたしは霊性について採り上げたテレビ番組を見ていました。この番組の司会者が末日聖徒の家族にインタビューをしていました。この家族の話を聞いているうちに、自分が長い間探し求めていた愛と固い信仰に触れる思いがしました。また、末日聖徒が家族を何よりも大切にしていることを知り感銘を受けました。この教会についてもっと調べてみようかと思いました。

テレビ画面の下にミラノ地区にあ

る末日聖徒イエス・キリスト教会の電話番号が表示されていました。そこに電話をし、ステークセンターにいた数人の教会員と話しました。彼らは宣教師がわたしに電話をするよう手配してくれました。

宣教師がレッスンの日時を決めるために電話をくれたときは特に忙しい時期だったので、数週間後に改めて返事をしてもいいかと尋ねました。いろいろと片付けることがあったのです。彼らは同意し、地元の扶助協会会長の電話番号を教えてくださいました。彼女は、後でわたしに電話をかけてきて、日曜日の集会に出席するよう勧めてくれました。わたしは教会に出席し、そこで経験したことすべてに満足しました。レッスンも会員も雰囲気もです。帰るときには、とても幸せな気分でした。

それから2か月間、わたしは毎週日曜日に教会に出席しました。そして2008年10月、わたしはバプテスマを受けたのです。わたしの探求はただ単に終わったではありません。完結したのです。かつて感じた渇きや物足りなさは、もう感じなくなりました。

真実を見つけたことにとっても感謝していますが、少し残念な気もします。イエス・キリストの福音を見つけるまで、ほんとうに長い時間がかかったからです。ただ、

探している間に様々な経験ができたことには感謝しています。実に多くの宗教や哲学について調べたことで、ふさわしい場所、自分の居場所を見つけることができ、特別な満足感を覚えます。■

バーバラ・デ・ジリオ
(イタリア、ロンバルディー)

わたしは組織された宗教は避けようと心に決めました。

しかし、そのような決心をしてからしばらくたって、わたしは末日聖徒の家族がテレビでインタビューを受けているのを見ました。



わたしの経歴は どうなるのでしょうか

すべてがほんとうにうまくいって
いました。わたしは音楽の学位
を取得してオックスフォード大学を
卒業し、スコットランドのエディンバラ
にあるプロのオーケストラで働き始め
たばかりでした。仕事も順調に進み、
友人もたくさんできつつありました。

学生のころに、専任宣教師としての奉
仕は後回しにしよう決めていました。
それが最近では伝道に出ることすら考
えなくなっていました。多くの事柄に
対する恐れ、特に、自分の経歴が台無
しになるのではないかという恐れから、
自分は例外であり、伝道に出る必要は
ないと考えたのです。伝道に伴う犠牲
は大きすぎるように思えました。

しかし、良い友人と御霊を伴うすばら
しい経験を通して、わたしの心は変わり
始めました。注意深く見守ってくれる面
倒見の良いビショップの愛によって、わ
たしは回復された福音に対する証^{あかし}を強
め、また深めることができました。や
がて、自分は伝道の召しを受け入れる
必要があると分かりました。競争の激
しい環境で、2年間のブランクの後、ど
うやって就職口を見つければいいのか
まったく見当がつかせませんでした。し
かし、主がわたしの決心を喜んでくだ
さると確信しました。わたしは先が見
えないまま仕事を辞めました。

西インド諸島伝道部で伝道する召し
を受けました。使用言語はフランス語
でした。厳しい試練は受けましたが、
人々に仕え、彼らの生活が変わるのを
見るのは喜びでした。伝道した2年
間、わたしは天の御父の御心^{みこころ}を求める
ことだけに集中しました。私心を捨て、
周囲の人々に仕えることで、自分が
いまだかつて経験したことのないよう
な喜びを味わうことができました。

帰還してからというもの、新しい優先



就職の面接が次々と失敗に終わった後で、
一つのこと^{こと}に気づきました。
関係のない分野で2年間従事したことで、
雇ってくれたかもしれない多くの雇用主に
敬遠されたのです。

順位や価値観をもって世の中を見るよ
うになりました。わたしはいつもイエ
ス・キリストの福音を中心とする生活を送
ろうと努めたのです。わたしは早速
就職活動を始めましたが、なかなか良
い仕事は見つかりませんでした。就職
の面接が次々と失敗に終わった後で、
一つのこと^{こと}に気づきました。関連のな
い分野で2年間従事したことで、雇っ
てくれたかもしれない多くの雇用主に
敬遠されたのです。伝道に出たことで
やはり自分の仕事を棒に振ることにな
るのでしょうか。

そうではなかったということに感謝
しています。3か月後、自分にぴった
りの求人を見つけたからです。わたし
はまさにその職に求められる一連の技
術を持っていました。それだけではあ

りません。求職者には流ちょうなフラン
ス語が求められていました。伝道に出た
ことで、この機会の扉が開きました。
3度の面接の後で、わたしはその仕事に
就きました。わたしの経歴は、伝道に出
なかった場合よりもはるかに優れたもの
となりました。わたしは主の憐れみと愛
を感じました。主は確かに、わたしたち
が自分の務めを果たすときに祝福を準備
しておられます。

預言者ジョセフ・スミスが教えたこと
は真実です。「わたしたちの力の限りす
べてのことを喜んで行おう。そして願わく
は、その後、わたしたちがこの上ない確信
をもって待ち受けて、神の救いを目にし、
また神の腕が現されるのを見ることがで
きるように。」(教義と聖約 123:17) ■
デビッド・フーソン(イングランド、ロンドン)

同僚に 立ち向かいました

ある朝、工場で勤務中に、上司が全社員に向けて、時間給に加え、出来高制で奨励金が出るという話をしました。たくさん生産すればするほど、収入も増えるというのです。伝道に出る4か月前の出来事でした。これで伝道資金に充てるお金を増やすことができます。

生産は大幅に増え、わたしたちの給与も増えました。スリーマンゴム硬化プレス機の操作がわたしの仕事でしたが、鑄型が定温器から出て来て、自動計数器が作動する度に、銀行預金口座の残高が増える様子を思い描きました。

しかし、この新しい奨励金のシステムはごまかしを奨励することになったのです。ある同僚がよく自動計数器のそばにこっそりとやって来て、作動レバーを何度か余分にぐいと引っ張り、持ち場に戻るのです。その行為を見る度に、わたしは苦笑いをし、首を横に振り、仕事を続けました。わたしは、自分自身が計数器をいじっていないければ、自分の信念を曲げていることにはならないと思いました。

しかし、間もなくして、わたしは気づきました。わたしのもらった給与は同じ班のほかの男性たちと変わらなかったのです。実際のところ、計数機をだれがいじろうと関係なかったのです。会社に対して盗みの罪を犯しているという点では、わたしも同僚たちと同じでした。盗んだお金を伝道資金に充てるのでしょうか。

わたしはどうすればよいか悩みました。給与に入る余分なお金は大した額ではありませんでした。思い悩むほどの問題ではないという意見が



多かったのですが、わたしの心は痛みました。わたしは同僚に立ち向かわなければならぬということが分かっていました。

「からかっているのかい」と先輩格

の同僚、ボブ(仮名)は言いました。「ごまかしはみんながやっていることだよ。経営者だってやっている。当然のことだと思っているよ。」

何も変える必要はないというのが



この新しい奨励金のシステムはごまかしを奨励することになったのです。ある同僚がよく自動計数器のそばにこっそりやって来て、作動レバーを何度か余分にぐいと引っ張るのです。

彼の考えでした。わたしにできることがほかにあったでしょうか。不正に生産数を増さなくても、わたしたちのプレス機は同じ勤務時間で最も生産性がありました。ほかのプレス機を

操作している工員の中に、わたしたちの班で働きたいと思っている人が多いということをよく聞きました。

「別のプレス機で働いているジャックと持ち場を変えていいですよ」とわたしはボブに提案しました。

「きみはばかだなあ」と彼はわたしに言いました。「おれはジャックとうまくやるよ。」

ジャックとわたしが班を交代してから、ボブは頻繁にジャックの給料がわたしよりどれくらい多いかを伝えてきました。「主のみ言葉は」の歌詞が思い浮かびました。「恐るな、われは汝が神 常に汝と共にあり。」この歌詞のおかげでボブのあざけりも気になりませんでした。

その後間もなく、ボブから話しかけ

られました。ジャックとしっくりいかないので、わたしに戻って来てほしいと言うのです。わたしは驚きました。わたしはボブに、戻るけれども、どんなごまかしもしないのが条件だと言いました。彼は同意してくれました。わたしは以前の班に温かく迎え入れられました。そしてごまかしはなくなりました。

伝道に出る前に試練を受けることは覚悟していましたが、自分の正直と勇気を試されるとは思ってもいませんでした。正しいことを行う力が必要なときに、主がその「正しき力」によってわたしを支えてくださったことに感謝しています。¹ ■

ケネス・ハースト(アメリカ合衆国,アラバマ州)

注

1.「主のみ言葉は」『賛美歌』46番

祈りに頼りました

ある日曜日のこと、わたしたちのステーキにすばらしい知らせがありました。七十人のカーロス・H・アマードー長老が火曜日の夕方にわたしたちのステーキを訪問し、話をするというのです。わたしたち家族は大喜びしました。しかし、どうすれば集会に間に合うか気がかりでした。

というのも、わたしは高校の教師で、火曜日の夕方は授業があったからです。残念ながら、休暇はめったなことではもらえませんでした。どうするべきかよく分からないまま、アマードー長老の話を聞こうと決心したわたしたち家族は、祈りに頼り、主が道を備えてくださるよう願いました。

大会の前日、わたしは20分早目に帰る件について、校長と話すようにという促しを感じました。わたしたち家族が集会に間に合うようにするためです。

彼女のオフィスに到着しました。すると、わたしが口を開く前に、彼女から火曜日の授業を通常よりも2時間早く始めてもらってもいいかと尋ねられました。それはつまり、わたしの生徒は2時間早く帰宅するということです。

わたしたち家族にとって何と大きな祝福だったことでしょう。わたしたちは集会に十分な余裕を持って到着しました。主の弟子の一人を前にして、わたしたちは御霊を感じました。わが家の5歳になる息子は、集会の始まる前にアマードー長老と抱き合い、少し言葉を交わし合うというすばらしい特権にあずかりました。その場に集った人々と一緒にわたしたちはあふれんばかりの御霊を受けました。さらに、わたしたちは家族として、天の御父は、わたしたちの望みを御存じであり、わたしたちの祈りを聞いておられるという証を得ました。■

ミゲル・トロンソ(アルゼンチン, サンタクルス)



ホームティーチングと 家庭訪問——仕える働き

- ・ ホームティーチングや家庭訪問は
- ・ 初めてですか？
- ・ 次に挙げた9つの勧めを
- ・ 検討してみてください。

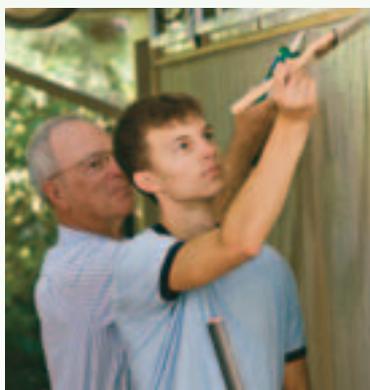
「月 末なのに家庭訪問メッセージについて話し合う機会がなくてほんとうにごめんなさい」とジュリー・B・ベック姉妹の訪問教師が言いました。訪問教師はこう言いながらも、かごいっばいのアイロンがけを抱えて、中央扶助協会会長の家を出た後、アイロンがけを済ませるとベック姉妹の家に戻って来ました。「これでも訪問したことになるのかしら？」とためらいながら訪問教師はベック姉妹に尋ねました。

ベック姉妹はこの話をすると、目に涙がこみ上げてきてこう言いました。「この愛すべき友人であり献身的な訪問教師は、わたしが家庭訪問を受けなかったとか、気遣われていないと感じているのでも思っているのでしょうか。その月にわたしの訪問教師が必要を満たすために家に立ち寄ってくれたのはそれが初めてではありませんでした。彼女はいつもわたしに仕え、わたしの家族を祝福してくれていることに、どうして気づかないのでしょうか。わたしに対する思いやりや気遣いは家庭訪問のとてもすばらしい模範です。もちろん彼女はわたしを訪問したと報告することができます！」

ベック姉妹の経験が物語っているように、靈感を受けた家庭訪問やホームティーチングは型どおりの訪問以上のものであり、1度すれば終わりというものではありません。家庭訪問やホームティーチングはノルマをこなしていくというより、人々を気にかけて、世話をするということです。正しく行^かう鍵は、数に入るかどうかではなく、関心を示

しているかどうかです。この二つの割り当ては、救い主がされたように、互いに見守り仕えるためのものです。以下のアイデアが役に立つでしょう。

- ・ **訪問先と同僚を知る。**ワードや支部の神権指導者や扶助協会の指導者は、訪問するよう割り当てられた家族や個人の名前と連絡先を提供してください。あなたの同僚と訪問先の人々に自己紹介し、関係作りを始めましょう。
- ・ **訪問する。**できれば、訪問先の家で会いましょう。もしそれができないなら、訪問する人の仕事場近くで会うか、一緒に散歩をしたり、日曜日の集会の前後に会うことも考えてみるとよいでしょう。大管長会メッセージや家庭訪問メッセージから始め、お互いに教え、霊を高め合^{あか}いましょう。証を分かち合^{あか}いましょうお互いの生活の中でどのようなことが起きているのか話しましょう。親しみと関心を示して愛を深めましょう。誠実に耳を傾けましょう。打ち明けられた秘密を守りましょう。時間をかけることでより深い信頼が築けます。友達であり続けてください。
- ・ **教える人のために一緒に祈りましょう。**訪問の終わりに「一緒にお祈りできますか」と聞くことは適切かもしれませんが。訪問先の家長がお祈りする人を決めるべきです。次の訪問までの間にホームティーチング先や家庭訪問先の人々のために祈り続けましょう。訪問する人々をどのように見守り愛したらよいか分かるように天の御父に祈りましょう。



信仰は育つ



「わたしの住んでいる所から離れた州にいるある母親が、取り乱してわたしに電話してきました。その母親にはまだ結婚していない娘さんがいて、家から遠く離れた別の街に引っ越ししてしまったのだそうです。娘さんとの短いやり取りの中で、その母親は何かひどく悪いことが起きていると感じました。その母親は、娘の道徳上の危険性を感じ取りました。彼女は娘を助けてください、とわたしに懇願しました。

わたしは、娘さんのホームティーチャーがだれなのかを探し出し、この兄弟に電話をしました。まだ若い兄弟でしたが、彼と同僚はその晩ずっと起きていました。その娘さんのことが心配だただけでなく、彼女が悲しみとみじめな気持ちをもたらしそうな選択をしようとしていたという靈感を受けていました。御霊による靈感だけを頼りに、二人は彼女に会いに行きました。彼女は最初は自分の状況を説明しがりませんでした。二人は彼女に、悔い改めて

主が彼女のために用意してくださった道に、お父さんやお母さんが従うようにと教えてくれた道に、踏みとどまるようにと訴えかけました。この二人の言うことを聞いているうちに、二人が自分の生活について知ることができたのは神様の力によるものであるということに彼女は気がつきました。母親の祈りが天の御父に届き、聖霊が主の用向きを受けてホームティーチャーのもとに送られたのです。

……天の御父の子供たちの世話ををするときに、その家に遣わされた主の教師として奉仕し、主に仕えるなら、皆さんの信仰は増すでしょう。皆さんの祈りはこたえられます。皆さんは神が生きておられ、わたしたちを愛し、神に対する信仰を持ち始めればかりの人にも、神の教会で神に仕えたいという望みを持つ人にも靈感を与えてくれるのだということを、自分自身の力で知ることになるでしょう。」

大管長会第一顧問
 ヘンリー・B・アイリング管長
 「困難な時のための御霊の賜物」
 (ヤングアダルトのための教会教育システムファイヤ
 サイド, 2006年9月10日)
lds.org/broadcast

フォトイラストレーション: ロバート・ケシー、クレック・タイムズ、ジョン・ルーク、ジェリー・ガーンズ



家庭訪問の祝福

中央扶助協会会長会第一顧問
シルビア・H・オールレッド

教会の18歳以上の姉妹には、訪問教師として奉仕する機会と責任が与えられています。この役割を通して、姉妹の皆さんは多くの善いことを成し遂げることができます。割り当てられた姉妹たちを訪問すれば、以下のことができるでしょう。

- 訪問先の姉妹について知り、愛し、友達になる。
- 福音の原則を分かち合い、^{あかし}証する機会を持つ。

- 良い模範となり、姉妹たちを強める。
- 必要とされるときに助けを与える機会を持つ。
- 御霊が導いてくれていることを感じる。
- 奉仕を通して喜びを経験する。
- 神の聖約の娘として霊的に成長する。



- **仕える。**注意して見守り、必要を察知しましょう。例えば、訪問先の姉妹が学校でテストがあるとすると、彼女がもっと勉強時間を確保できるようにその週のどこかで夕飯の支度をしてあげることができます。もし担当のホームティーチング先の兄弟が仕事を探していたら、助けられそうな人を紹介しましょう。
- **助けとなる質問をする。**質問することで慰めを与えたり、問題に関連した福音の原則を分かち合ったり、意義深い奉仕をすることができます。「心配していることや気になっていることはありますか」と聞くことができます。「福音について疑問に思っていることは何ですか。」またはもっと具体的に「家の中の仕事でお手伝いできることはないでしょうか」と聞いてみることができます。「買い物や病院に行くとき、車で送っていきませんか。」ただ「必要があれば電話してください」というよりは、質問をする方が良い結果をもたらすことが度々あります。
- **靈感を求める。**聖霊はあなたが教えるように割り当てられた人々をどのように助けたらよいか分かるように助けることがおできになります。どんなことを話したらよいか、どんな助けを申し出たらよいか導きを受けるかもしれません。訪問先の人々を知れば知るほど、彼らがさらに福音の儀式や聖約を受けられるように、あるいは福音がもたらす祝福にあずかれるように励ますよう導きを受けるかもしれません。
- **正しい情報を報告する。**訪問する人々の物質的、霊的な福利について、また何が必要でどのような奉仕をしたかを報告しましょう。内密事項は直接扶助協会会長か定員会会長に報告します。
- **同僚と調整する。**必要に応じて訪問先への連絡や見守るための役割を同僚と分担しましょう。ときには交代で訪問したり、奉仕をしたり、訪問先の状態を報告する必要があるかもしれません。
- **覚える。**あなたが訪問する人たちの大切な記念日、例えば誕生日や、その人々の日常生活の大事な出来事を忘れないようにしましょう。■

福音を教える喜び

わたしはホームティーチングの同僚と、老夫婦を訪問しました。伝道から帰ってほんの数週間でしたが、わたしはすでに福音を教えるということがどういうことなのか忘れかけていました。しかし、あのとき訪問してレッスンしたことで、わ

たしの心に再び火がつきました。御霊が心の中で強く燃え、わたしはただただほほえんで涙をこらえるばかりでした。

ホームティーチングはヤングアダルトにとって重要なものです。なぜなら、わたしたちは皆どのような状況にあっ

ても聖霊によって強められる必要があるからです。この世の誘惑は強く、回復された福音を教えることは、危険な道にそれてしまうのを避けるための最も良い方法の一つです。

ラモン・カスパズ(オランダ)



主の喜び

試錬に遭い、自分の思いどおりにならないとき、不平を言うのは簡単なことです。しかし、わたしと同僚が、教会に長い間集っていない家族を訪問するように割り当てられたとき、わたしの見方は大きく変わりました。

ある訪問の間、わたしはこの家族が直面している問題に比べ、自分の問題など海に落ちる一粒の雨くらい小さいものだということに気がつきました。彼らは一向に教会に集う様子はありませんでしたが、同僚とわたしは彼らを訪問し続けました。

ある日曜日の朝、聖餐会の前にドアのところ立つようにとの促しを感じました。驚いたことに、この家族が礼拝堂に入って来たのです。わたしの感じた喜びは言葉で言い表せないものでした。わたしの苦難はキリストの喜びにのまれてしまいました(アルマ 31:38 参照)。

ラティ・モゴチ(南アフリカ)

明日の友達

フランスに留学したとき、家庭訪問について認識を新たにしました。わたしが割り当てられた姉妹たちは、なんとなく名前と顔とが分かる程度でしたが、その程度では終わりませんでした。心からの友達になったのです。わたしは何度も聖霊を感じました。祈ったとき、姉妹たちのために断食したとき、電話をし、慰め、話を聞き、手紙を書

き、会いに行き、肩に手を回したときでした。特別な瞬間でした。こういった小さな行いが姉妹たちの生活に違いをもたらし、わたしの生活にも違いをもたらしました。

すべての姉妹は違っていました。わたしと同年代の姉妹もいれば、わたしよりも年上の姉妹もいました。わたしよりも年下の姉妹もいれば、結婚して母親になった姉妹もおり、独身の姉妹もいま

年齢は関係ありません

年老いた女性を担当するよう割り当てられたとき、年齢差があったので、共通点があるだろうかと心配しました。しかし、この姉妹は話をしたり、話を聞いてくれる相手を必要としていたので、ちょうどわたしたちが適任だったのです。主はそのことを御存じであったことが分かりました。

この姉妹に奉仕しているとき、わたしは主の御手に使われる器になることができたと感じました。また彼女から学ぶべきことが多くあったことが分かりました。一緒に時間を過ごすことで、互いの人生に幸福をもたらしました。

テボホ・ンダバ(南アフリカ)

した。訪問することにより、違いを超えて理解し合うことができました。

最近、わたしは新しい街に引っ越しました。何人かの姉妹を訪問するように割り当てを受けたとき、わたしの心は喜びで震えました。今日はただ名前しか知らない人が、明日は友達になるのです。

ニリーナ・J-ランドリアミハリソア(マダガスカル)

そこが知りたい

教会員でない友達が、
**神殿の中で行われて
いること**について
話してきました。
彼らはどうやって
知ったのでしょうか。
何と答えたら
よいのでしょうか。

まず、友達の質問を気にしないでください。神殿の象徴や儀式は、おもに教会を離れた人々など、様々な方法によって一般社会に広められてきました。教会外の人々に知られてしまったからといって、これらが神聖でなくなるわけではありません。

わたしたちがそれらを神聖に保ち、主への献身を示すことが大切なのです。

第2に、神殿の儀式について尋ねる人がいたら、自分はまだ受けていないのであまりよく知らない正直に話してもよいでしょう。しかし、誤解を解くために、天の御父と聖約を交わすために神殿に行くこと、参入することで「救い主、天の御父の計画における救い主の役割、救い主に従う決意に心を集中させることができ[る]」ことを説明できます（『真理を守る』113）。神殿で用いられる象徴や儀式は神聖なものであり、公の場で話すべきでないし、神殿以外の場所でのその意味や価値を正しく理解することはできません。

さらに詳しくは、以下の資料を読んでください。どちらも LDS.org にいくつかの言語で掲載しています。

- 冊子『聖なる神殿に参入する備え』
- 『真理を守る』「神殿」の項、112 - 116 ■



教会の指導者に敬意を示すことは重要です。友人であっても、教会では「兄弟」や「姉妹」と付けて呼ぶことで指導者の召しを尊び、敬意を表すべきです。■

すべての若い男性は伝道に出る準備をするべきです。宣教師として奉仕することは神権の義務です。非常に多くのものを受けているわたしたちに、主が望んでおられる務めなのです。」¹

神権を受けるということは、それに伴う義務と責任を負うことにも同意するという事です。天の御父がお与えになるほかの賜物と同じように、御父はあなたが神権を行使して人々に祝福をもたらすことを望んでおられます。「多く与えられる者からは多く求められ……るからである。」(教義と聖約 82:3)

アロン神権者は、「警告し、説き明かし、勧め、教え、またキリストのもとに来るようにすべての人を招かなければならない。」(教義と聖約 20:59) モンソン大管長が述べたように、専任宣教師として奉仕することは神権者の義務です。伝道に出たら、すべての力と時間をささげ、一心にその義務を果たします。人々に仕え、福音を宣べ伝え、すべての人をキリストのもとへ招くのです。もちろん、義務を果たすと必ず祝福を受けます。伝道は大きな喜びを得、霊の成長する時期となるでしょう。■

注

1. トーマス・S・モンソン「再びともに集い」『リアホナ』2010年11月号、5-6、強調付加

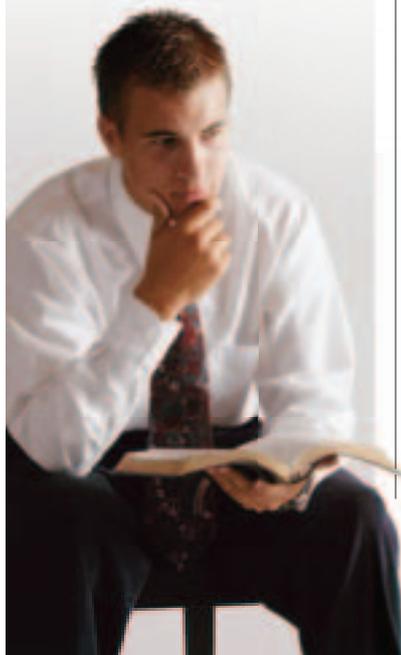
教会の指導者を
下の名前で
呼んでも
よいでしょうか。

時々、指導者ととても親しくなって、礼儀を忘れてしまうことがあります。親しくなることは良いことですが、指導者自身とその召しに正しい敬意を示すことも大切です。教会では大人を「兄弟」や「姉妹」と呼びますが、そうすることで敬意を表すとともにわたしたちが天の御父の子供であることを思い出します。長老、ビショップ、会長などの正式名称も敬意を示すしるしです。専任宣教師は互いを「長老」または「姉妹」と呼ぶことで模範を示します。

専任宣教師として
奉仕することは
神権の義務
であると

モンソン大管長は
言いました。
どういう意味でしょうか。

先日の総大会で、トーマス・S・モンソン大管長はこう言いました。「アロン神権の若い男性の皆さんと長老になる若い男性の皆さんに、預言者たちが長年教えてきたことを繰り返します。ふさわしく、能力があるす



スーパー!

ヒーローに
なることを
選びましょう。

預言者に従ってください。
伝道に出る備えを
してください。

(教義と聖約 15:6 参照)



行くべきか、 とどまるべきか



伝道に出発する数日前、両親が入院しました。彼らを置いて行けるか分かりませんでした。

ロドルフォ・ジャーニ

わたしは友人を通して末日聖徒イエス・キリスト教会を知る幸運に恵まれました。世に福音の光を携えて行くために神によって召された宣教師から教えを受けました。バプテスマの2年後、わたしはイタリア・ミラノ伝道部に召されました。出発前、とても深遠な、霊的な経験をしました。

教会員ではなかった両親は伝道についてわたしのようには喜んでいませんでした。ひどい口論をすることがあり、わたしはとてもつらい思いをしました。

伝道に出発する2日前、両親が突然病に倒れました。母は命にかかわる問題が起きて、入院しました。医者が何をしても無駄なようでした。父は肝硬変で、快復するのは難しい

と医者と言いました。

その夜、わたしは天の御父にひざまずいて祈りました。「お父様、助けてください。家族が病気になり、わたしはこのような状態で彼らを置いて行くことができません。お父様、わたしが行くべきか、とどまるべきか、正しい方が分かるようにどうぞ助けてください。」

わたしは数分間、自分の状況についてじっくり考えました。すると、静かでありながら心を貫く声がかう言いました。「信仰を持ちなさい。そうすれば、すべてがいちばん良い方向に進むでしょう。」

家族が病に倒れている姿を見て悲しみつつも、わたしはローマを経由してアメリカへ行く飛行機に乗ることにしました。そしてアメリカで宣教師訓

練センター（MTC）に入りました。MTCで過ごした間、夜になると心が痛みました。両親について何度も考えました。ついに、MTC会長の承認を得て、両親の具合を確認するために電話をかけられることになりました。

母は電話口で、父も母も主によって奇跡を経験したと喜びいっぱいに語りました。あまり信仰心のない母からの思いがけない言葉でした。わたしが出発した後、二人の病状が持ち直したそうです。医師たちは理由を説明できませんでした。両親は元気で幸福でした。わたしも喜びで満たされました。

この経験を通して、信仰と祈り、従順がもたらす力への証あかしが強くなりました。伝道している間、主が家族を見守ってくださったことに感謝しています。■

信仰の ディフェンダー

コンゴ民主共和国キンシャサのクバンジラ・カサンザ・セルバは
様々なチームで活躍する名選手です。

教会機関誌

リチャード・M・ロムニー

相手チームのアタッカーが
ゴールに向かって勢いよく
ドリブルしています。何が
何でもゴールを決めたい様子です。
しかし、セルバが追いついて横に並
び、ボールを奪い、反対方向へ素早く
走ります。

「ぼくはディフェンダーです」と
12歳のセルバは説明します。「相手
チームが得点しないように止めるのが
ぼくの役目です。」

セルバは味方にしておきたいタイプ
の選手です。口数は少ないけれど
しっかりしていて、いつでも一生懸命
で、チームの皆が成功するのを見る
のが好きな人です。この特質は、ほ
かのチーム、すなわち教会や家族の
中でも役立っています。真理を守り
たいという彼の望みもそうです。

セルバとニーファイ

セルバの大好きな聖句は1ニーファ
イ3章7節です。「わたしは行って、

主が命じられたことを行います。」
ニーファイと同じように、セルバも主を
信頼しています。「主が何かをするよ
うに命じられるときに、成し遂げる方
法をぼくのために備えられないことは
ありません。主はぼくを強め、助け手
としてほかの人を送ってくださいます。」

行って行う

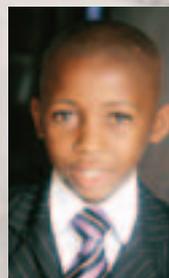
セルバはこのように語ります。「福
音について教えられていることを聞く
のは大切です。しかし、教わったこと
を行うことも大切です。」彼はパプ
テスマのときを思い出して、賢い選択
をするうえで聖霊の賜物たまものを用いるよう
に努力しています。セルバはアロン神
権を受けたばかりです。いつか神殿
に行って主とさらに聖約を交わす日
を楽しみにしており、伝道にも出よう
と思っています。弟たちに模範を示し、
母親と父親の役に立ちたいと思っ
ています。

セルバはこのように述べています。
「母と父に頼まれたことをしたり、天
の御父の戒めを守ったりすることで

両親を敬っています。最年長のぼく
が弟たちに模範を示すこ
とが大事なことを知っ
ています。ぼくと同じよう
にするだろうからです。」

強くあり続ける

セルバはスポーツも、福音も、どち
らも精いっぱい努力することが大切



名前には
どのような意味が
あるでしょうか

セルバは意味のあ
る名前です。セルバの
父セレストンと、母親
のバレリーの名前を合

わせています。セルバはこう語ります。
「この名前は両親がともに幸せな家族を
作りたいとどれほど強く望んだかを思い
出させてくれます。」

弟たちの名前も深い意味が込め
られています。7歳のネイサンは
聖書に登場する知恵あふれる男性（ナタ
ン）から取っています。4歳のベニは
「祝福された」という意味の名前です。
2歳の弟の名前は父の名を取ってセル
スタン・ジュニアですが、皆から「ル・ブ
チ」（ちびちゃん）と呼ばれています。

インターネットで得られる追加情報

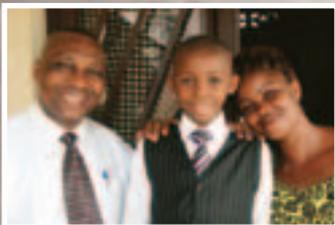
キ
ンシャサの地図を見たり、セルバが賛美歌を歌って証を述べているビデオを視聴したりするには、
www.liahona.lds.org をご覧ください。



であることを知っています。家族や個人での祈り、家族や個人での聖文研究、そして家庭の夕べは皆、セルバの日常的な習慣となっています。知恵の言葉について証^{あかし}があり、口にして良いものと悪いものがあることを知っています。「スポーツ選手はビールを飲むべきではありません」と断言します。

真のディフェンダー

教会が発展する中で、セルバのように正義を選びたいというしっかりした若い男性がいることは頼もしいことです。セルバはこう述べています。「天の御父が生きておられること、イエス・キリストが実在されること、ジョセフ・スミスが地上に福音を回復した預言者であることを知っています。その証を持っているので、いつもあらゆる方法で教会のディフェンダーでいるつもりです。」■



救い主は、
悪に対して寛容である必要はない
と教えておられます。
「イエスは宮にはいられた。
そして、……両替人の台……を
くつがえされた。」

寛容は混乱した現代にとても
必要な徳です。しかし、寛容
と黙認することには違いが
あることを認識しなければなりません。
人に対する恵み深い寛容さとは、相手
が悪い行いをするのを許すことではな
いし、相手の過ちを大目に見る義務を
負うことでもありません。これは、寛容
という重要な徳を理解するうえで基本
となります。

二つの大いなる戒め

人生において最も高い優先順位は、
神を愛することと、隣人を愛すること
です。¹ 広い意味で隣人には、家族や
地域社会、国、そして世界のすべての人
が含まれます。第2の戒めに従うなら
ば、第1の戒めに従いやすくなります。
「あなたがたが同胞^{ほらから}のために務めるの
は、とりもなおさず、あなたがたの神の
ために務めるのである……。」(モーサ
ヤ2:17)

バプテスマは環境を越える

すべての大陸と海の島々で、忠実な
人が末日聖徒イエス・キリスト教会に
集められています。文化や言語、性別、
顔かたちの違いは、会員が愛する救い
主に仕える業に献身するとき、あまり重
要ではなくなります。

神が真にわたしたちの御父であられ
ることを理解して初めて、人は皆兄弟



寛容とは何でしょうか

であることを完全に理解することができます。そうすれば、「差別の壁」ではなく「協力の橋」を築きたいと願うようになります。

不寛容は争いを生み出し、寛容は争いを鎮めます。寛容は、互いの理解と愛の扉を開く鍵なのです。

無制限の寛容に潜む危険性

ここで、大切な注意の一つしたいと思います。「少しあるとよいものは、たくさんあればもっとよい」という誤った考えについてです。決してそうではありません。必要な薬も過剰投与すれば毒になるように、無制限の^{あわ}憐れみは正義に反することもあるのです。無制限の寛容も、すべてを黙認することになりかねません。

主は、寛容の限界を明らかに示されました。主が定められたこの限界を超えると、危険が生じます。親が子供に道路に出て遊んではいけないと教えるように、救い主は、悪に対して寛容である必要はないと教えておられます。「イエスは宮にはいられた。そして、……両替人の台……をくつがえされた。」(マタイ 21:12; マルコ 11:15 も参照) 罪人を愛された主ですが、「ほんのわずかでも罪を見過ごしにすることはない」と言っておられます(教義と聖約 1:31)。

罪人に対する真の愛とは、黙認することではなく、勇気をもって^{たいし}対峙することです。真の愛は、自滅行為に力添えするものではありません。

寛容と互いの尊敬

救い主に献身する人は、罪を憎んでも、隣人

を愛しなさいという主の戒めを実行します。ともに地上に住むわたしたちは、地の世話をし、地を従わせ、感謝の心をもって地を共有します。² 一人一人がこの世の生活をもっと楽しい経験にするために助け合うことができます。

大管長会と十二使徒定員会が発表した声明を引用します。

「個人や集団が、人種的、文化的な優越感という忌まわしく、悲しむべき考え方のもとに、人の絶対的な尊厳を否定するのは倫理的に間違っています。

世界中のすべての人々が、寛容と相互の尊重という、昔ながらの理想に心を向けるよう願っています。人が思いやりと哀れみの心で互いを認め合うなら、どれほど大きな相違があろうと、平和に共存できることを悟るとわたしたちは心から信じています。」³

わたしたちはともに、罪を拒み、価値観の異なる隣人に寛容になることができます。世界中の愛する兄弟姉妹は皆、神の子供です。神はわたしたちの御父であられ、その御子イエスはキリストです。神のすべての子供たちを祝福するため、この末日の地上に主の教会が回復されました。■

この話は 1994 年 4 月の総大会での説教をもとに書かれました。

注

1. マタイ 22:36 - 40; ヨハネ 13:34 - 35; 15:12, 17; ローマ 13:8; 1テサロニケ 3:12; 4:9; 1ペテロ 1:22; 1ヨハネ 3:11, 23; 4:7, 11 - 12; 2ヨハネ 1:5 参照
2. 創世 1:28; 教義と聖約 59:15 - 21; モーセ 2:28; アブラハム 4:28 参照
3. 1992 年 10 月 18 日に大管長会と十二使徒定員会が出した声明。"Church Exhorts Ethnic, Religious Tolerance," *Church News*, 1992 年 10 月 24 日付



十二使徒定員会
ラッセル・M・
ネルソン長老



七十人
青柳弘一長老

松 本に住む10代の少年だったわたしは、英語を学ぶことにとても興味がありました。17歳のとき、高校で英語クラブに入りました。新年度の初めに、英会話を教わるために、クラブで英語を母国語とする人を探すことになりました。あちこち探し回りましたが、声をかけた英語講師たちからはレッスン料を求められ、クラブには支払う余裕はありませんでした。わたしたちはがっかりし、あきらめかけました。

そんなある日、自転車で学校に向かっていると、スーツを着たアメリカ人の青年たちがちらしを配っているのを見かけました。わたしは1枚受け取り、ポケットに入れました。放課後、その紙切れをよく見てみると、それは無料の英会話クラスの案内でした。ちらしには「末日聖徒イエス・キリスト教会」という名

このような人には出会ったことがありませんでした。

数週間後、わたしが教会について尋ね始めると、宣教師はもっと学ぶように勧めてくれました。わたしは勧めに応じ、宣教師は福音についてのレッスンをしてくれました。当時、わたしは自分が学んでいることを十分に理解しておらず、その価値についてもよく分かっていませんでした。しかし、御^み霊^{たま}を感じ、宣教師が教えてくれている原則が良いものであることは分かりました。バプテスマを勧められ、受けることにしました。

しかし教会に入るためには、両親の同意を得なければなりません。最初、両親はとても反対しました。キリスト教の教えは、両親にはなじみのない、奇妙なものだったのです。でも、あきらめるつもりはありませんでした。

選ばれる

前が書かれていました。そのような教会は聞いたことがありませんでしたが、胸が高鳴りました。英語クラブの抱えていた問題が解決したのです。

次の英会話クラスの日、わたしは約30人の部員と一緒に出席しました。宣教師が英会話を教えてくれ、わたしたちは皆、とても有意義な時間を過ごしました。初めてクラスに出席した日から、わたしは宣教師がどこかほかの人と違うことに気づいていました。彼らの温かさ、愛、前向きな態度、明るさに深く胸を打たれました。彼らの周りに光があるようでした。

わたしは宣教師に家に来てもらい、教会について、またわたしに教えてきたことと、わたしに期待されることについて両親に説明してもらいました。御霊が両親の心を和らげてくれ、とうとう、両親はバプテスマを受けることを許可してくれました。

教会から離れていく

バプテスマと確認の儀式を受けた後、松本支部に集いました。活発な会員が12人から15人ほどの小さな支部です。友人もでき、毎週楽しく出席しました。約1年後、高校を卒業し、大学に行くために横浜に引っ越しました。最寄りの支部は東京中央支部で、活発な会員

が150人以上いました。この新しい支部に出席したとき、自分が大都会にいる田舎者のように感じました。なかなか友人もできませんでした。ある日曜日、教会を休んで家にいました。やがてまったく出席しなくなりました。教会員ではないクラスメートたちと親しくするようになり、教会から心がどんどん離れていきました。

こうした状態が数か月続きました。そんなある日、松本支部のある姉妹から手紙をもらいました。「教会に行くのをやめてしまったと聞きました」と書いてありました。わたしは驚きました。わたしが教会に出席しなくなったことを、こちらの支部のだれかが彼女に話したらしいのです。続けて、手紙には教義と聖約第121章34節が引用されていました。「まことに、召される者は多いが、選ばれる者は少ない。」

てくれたことを思い出しました。宣教師はわたしにモロナイ書第10章3節から5節を読むように言い、自分で真理を知ることができると約束してくれたのです。祈らなければならないと思いましたが、何も感じなければ、教会や戒めについて完全に忘れることができるでしょうし、もう二度と教会に行くこともないでしょう。でも、もしモロナイが約束しているように答えを得たならば、悔い改め、心から福音を受け入れ、教会に戻り、戒めに従うためにできることをすべて行わなければならないでしょう。

者の道

そしてその姉妹はこう書いていました。「弘一さん、あなたはバプテスマを受けて教会員になりました。あなたは召される者となりましたが、もう選ばれる者の中にいないのです。」

この言葉を読んだとき、後悔の気持ちでいっぱいになりました。何とかして変わる必要があると思いました。自分には強い証あかしがないことに気づきました。神が生きておられるかどうか確信がなく、イエス・キリストが自分の救い主であられるかどうかも分からなかったのです。それから数日間、手紙に書かれていたことについて考えるにつれて、不安が募っていきました。どうすればよいか分かりませんでした。そしてある朝、以前宣教師が教え

その朝、わたしはひざまずいて祈り、わたしにこたえてくださるよう天のお父様に嘆願しました。「もしあなたが生きておられ、ほんとうにいらっしゃるなら、どうぞわたしにお知らせください」と祈りました。またイエス・キリストがわたしの救い主であられるかどうか、そして教会が真実かどうかを知るために祈りました。祈りを終えたとき、突然何かを感じました。温かい気持ちに包まれ、心が喜びで満たされました。わたしは真理を理解しました。神は確かに生きておられ、イエスは実際にわたしの救い主であられるのです。主の教会は預言者ジョセフ・スミスによって確かに回復され、モルモン書は神の言葉なのです。

言うまでもなく、わたしはその日、救しゆるを求めて祈り、戒めに従う決意をしました。教会

バプテスマを受けると、最後まで堪え忍ぶことはまったく別のことです。



4つの目標

1. 可能なかぎり高い教育を受ける。
2. 専任宣教師として働く。
3. 神殿で結婚する。
4. 家族を養うための技能を身に付ける。

に戻り、忠実であり続けるために必要なことは何でも行うと主に約束しました。

それからしばらくして、教会では横浜に教会堂を建てる計画が始まりました。当時、支部の会員は建物の建設のために献金し、労働を提供するように期待されました。自分にささげられるものをすべてささげるようにというチャレンジを伝道部長が支部の会員に与えたとき、わたしは主に求められることは何でも行おうと決意したことを思い起こしました。そうして1年近くにわたって毎日、大学の授業を終えた後で建設を手伝いました。

4つの目標を達成する

ちょうど同じころ、当時十二使徒定員会の会員だったスペンサー・W・キンボール長老（1895 - 1985年）が日本を訪れ、教会の若人に4つの目標を達成するように勧めました。（1）可能なかぎり高い教育を受ける、（2）特に若い男性は専任宣教師として働く、（3）神殿で結婚する、そして（4）家族を養うための技能を身に付けるというものです。そのときまで、これらの4つの事柄を達成することな

どまったく考えていませんでした。でも後にひざまずいて祈りました。「天のお父様、わたしはこれらの4つの目標を達成したいです。どうぞ助けてください。」

選ばれる者の道にとどまるためには、主のしもべ僕の勧告に従う必要があることを知っていたのです。わたしはキンボール長老の助言に従うためにできることをすべて行い、教会を築き上げるために熱心に働こうと決意しました。

それからの数年間、わたしは4つの目標に向かって努力し続けました。建築宣教師として2年間働き、母国で二つの教会堂を建てる手伝いをしました。その後、専任宣教師として伝道に召されました。帰還して間もなく、あの手紙をくれた松本支部の女性と神殿で結



婚しました。後に、夢だった貿易会社での仕事に就きました。主の言葉と預言者の勧告に従うとき、再び自分は選ばれる者の道歩んでいると感じました。そして今日も、その道にとどまろうと努力しています。

主の声に聞き従う

若い兄弟姉妹の皆さん、救い主は絶えずわたしたちに呼びかけ、御自分に従うように命じておられます。主は次のように教えられました。「わたしの羊はわたしの声に聞き従う。……彼らはわたしについて来る。」(ヨハネ 10:27) 皆さんは主の声に聞き従いました。バプテスマを受けて主の教会に入ることによって、主について行きました。実際に、皆さんは召さ

れる者となりました。しかし、選ばれる者となることは、まったく別の問題です。

忠実であり続けるために必要なことは何でも行くと、今、決意してください。神のすべての戒めに従うことによって最後まで堪え忍ぶと決意してください。自分自身のために義にかなったふさわしい目標を立ててください。教育を受け、伝道に出て、神殿で結婚し、霊的にも物質的にも家族を養ってください。もしまだ証を得ていないなら、真理について知ることができるように、ひざまずいて天の御父に助けを求めてください。そして、答えを得たときには、主の業に心から献身してください。選ばれる者の道を歩むために必要なことを何でも行ってください。■

笑顔のすてきな少女

不安でしたが、恐れを克服するための秘訣を見つけました。

ミッシェル・グラウザー

この日のために、ピアノの先生と一緒に何か月も準備してきました。わたしはアチーブメント・イン・ミュージックという、音楽を学ぶ生徒のためのコンクールに参加することになっていました。毎年開催されるこのコンクールでは、理論についての知識から暗譜した曲の強弱のつけ方に至るまで、あらゆることについて評価を受けます。ついにその日が、緊張とともにやって来ました。

コンクールで最も不安だったのが、審査員たちの前で演奏です。曲はしっかりと覚えていましたが、弾きながら両手が震えました。

心配だった演奏が終わりました。あとは作曲家についてのレポートを発表するだけなので、一安心です。所定の場所を見つけ、列に並んで待ちました。前にはドアが二つあります。どんな様子かと、左側のドアから中をのぞいてみました。優しくそんな教師が、緊張しながら入室する生徒を励まし、親しくなっています。生徒を安心させようとしているのがよく分かりました。

次に、右側の部屋をのぞいてみました。別のピアノ教師がいます。年配の教師ですが、その厳しい顔つきに、わたしは両手が冷たくなりました。その教師が生徒と話している様子を見れば見るほど、怖くなっていきました。頭の中は「最初に見た審査員に当たりますように」という思いでいっぱいでした。

わたしは自分のレポートを何度も読み返しました。列の先頭になったとき、左側の人の方が先に終わるように願いました。でも残念なことに、右側の生徒がドアに向かって歩き始めました。そちらに入って行くなんで、とてもできません。そのとき、次のような思いが浮かんできた。「とにかくとびきりの笑顔でいなさい。」

わたしは弾むような足取りで、かつて見せたことのないような、とびきりの笑顔浮かべて入って行きました。よく言われるように、幸せそうに振る舞うと、幸せな気分になるものです。わたしはほほえみながら審査員と握手をしました。その後、はっきりとし

た声でレポートを読み、時々間を取って審査員にほほえみかけました。発表を終えるときには、時間を取ってもらったことに対してお礼を言いました。もうその審査員が怖く見えませんでした。退室しながら、^{あんど}安堵と幸せな気持ちを感じました。

数か月後、ピアノの先生が審査員たちからの批評を読んでくれました。最後の批評について、先生が言いました。「わあ、この審査員はほんとうに良い印象を受けたのね。『笑顔のすてきな少女、ミッシェル』って書いてあるわ。」だれからの批評か尋ねるまでもありませんでした。

態度を変えたおかげで、わたしは最善を尽くすことができました。難しいことを行うときにはいつでも、気が進まないという態度を見せるのではなく、充実した楽しいものにしようと思えるようにしています。態度によって経験することが変わってくるということを知っています。良い態度をもって頑張り抜くことによって、チャレンジを楽しめるようになりました。■

とくべつ しやうにん
特別な証人



じゅうに しとていんかい
十二使徒定員会の
デビッド・A・
ペドナー長老が
このことについて、
かんがえをしようかいて
くれています。

ふくいん
福音はわたしを
どのように
しあわ
幸せに

してくれるでしょうか？

2002年8月23日に
ブリガム・ヤング大学アイダホ校で行われた
デイポーションナルから。

てんのお父様の
幸福の計画は、
子供たちに方向を示し、
幸せになるように助け、
ご自分のところに
無事にもどれるように
するものです。

わたしたちはこの世で、
様々なことを学び、経験しています。
やさしさ、愛、親切、喜び、
そして、悲しみ、落胆、痛み、
体の不自由さをも、
天のお父様と
再び一緒に喜らすための
準備なのです。

真の幸福は、
福音の真理と
永遠の律法に
従順に従うことによって
もたらされます。

みなさんは
善と悪の違いを
知っています。
みなさんは「研究によって、
また信仰によって」
するべきことと、
するべきでないことを
学ばなくてはなりません
(教義と聖約88:118)。

福音の原則に従えば
いつも聖霊が
そばにいてくださいます。
聖霊は、あなたが
イエス・キリストの教えを理解し、
従えるよう助けてくださいます。

幸せになり、
守られるために、
救い主の福音を学び、
一生懸命に従ってください。
ただ従うだけでなく、
従うことを喜びとしてください。
そうすれば、数え切れないほどの
祝福、強さ、真の幸福が
得られるでしょう。



イーライの手術

「主は言う。『この神権を受けるすべての者は、わたしを受け入れるのである。』」(教義と聖約 84 : 35)

ジェーン・マクブライド・チョート
実話をもとに書かれました。

イーライは友達が放課後に持って来てくれた山のような宿題に目をやりました。イーライは耳の感染しょうのせいでまた1週間学校を休んでいたのです。

その日の夕方、イーライの両親が部屋に入って来ました。お母さんはベッドの横にすわり、イーライの手を取りながら言いました。「イーライ、お医者さんは手術しないといけないって言っているの。」

「どんな手術?」

「耳にチューブを入れてこれ以上感染しょうにかかるのを防ぐそうよ」とお母さんは言いました。「痛くないし、一日で退院できるわ。」お母さんはイーライの手をぎゅっとにぎりました。

イーライは両親を信じました。でも手術を受けるというのはこわいことです。

イーライは初等協会で聞いたジョセフ・スミスの話のことを考えました。ジョセフは7才のころ、足の骨が感染しょうにかかってしまいました。感染しょうは悪化し、骨の一部を取りのぞかないと足を失うか、もしくは命までも失ってしまうと医者は言いました。

ジョセフ・スミスの時代、医者は手術をするとき、痛みをやわらげるためにお酒を飲ませていましたが、ジョセフは医者にすすめられたお酒を断りました。そしてベッドにしばり付けられるのも断りました。ジョセフは、お父さんがおさえてくれていれば動かないと言いました。お父さんはつらい手術の間中、ジョセフをうでの中でしっかりとだきしめてくれていました。そして手術は成功し、ジョセフは回復しました。

イーライはジョセフの勇気と、ジョセフのお父さんに対する信頼について考えました。「お父さん、祝福してもらっていい?」イーライは聞きました。

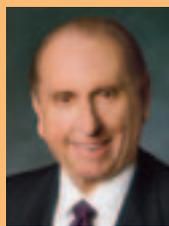
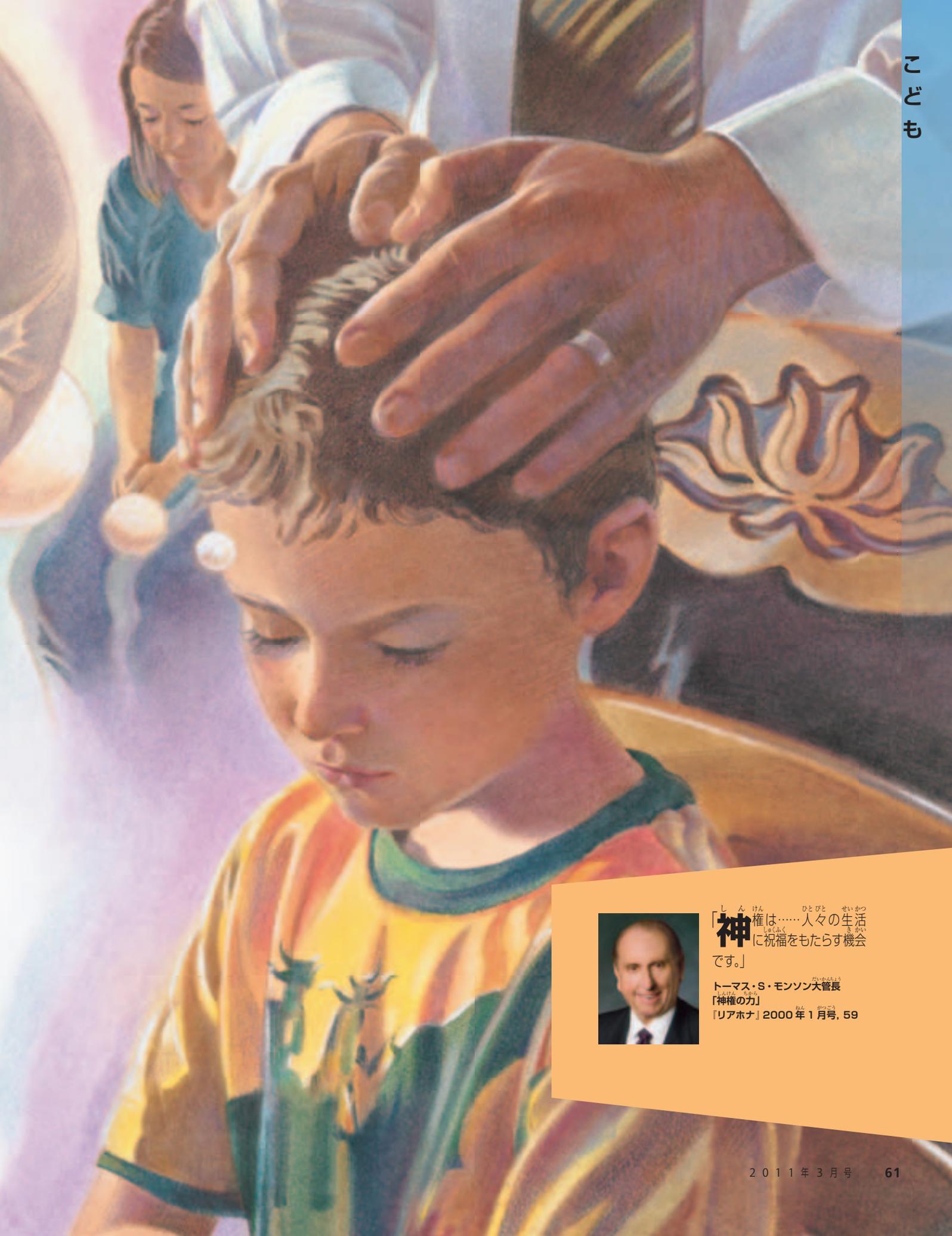
イーライは神権の祝福が助けになることを知っていました。新年度が始まったとき、お父さんはイーライを祝福しました。「それはいい考えだね」とお父さんは言いました。

お母さんはうでを組んで頭を下げました。イーライはお父さんの手が頭に乘せられるのを感じました。イーライがこわがらないように、そして完全に回復するように祝福していると、お父さんの声はだんだん確信に満ちあふれてきました。

祝福が終わると、イーライはもうこわくありませんでした。「もう手術を受けられるよ」とイーライは言いました。

3日後にイーライは病院に行き、次の日には家にもどりました。耳の感染しょうはすぐに治り、休んでいる間におくれてしまった学校の勉強にもすぐに追いつきました。

イーライは末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であること、そして神権を通して祝福してもらえることに感謝しました。■



「しんけん ひとびと せいかつ
神 権は……人々の生活
に祝福をもたらす機会
です。」

トーマス・S・モンソン大管長
「神権の力」
『リアホナ』2000年1月号, 59

だいかんちょうかいだいいち こもん
大管長会第一顧問

ヘンリー・B・
アイリング管長



めぐみ かぞ 数えあげ

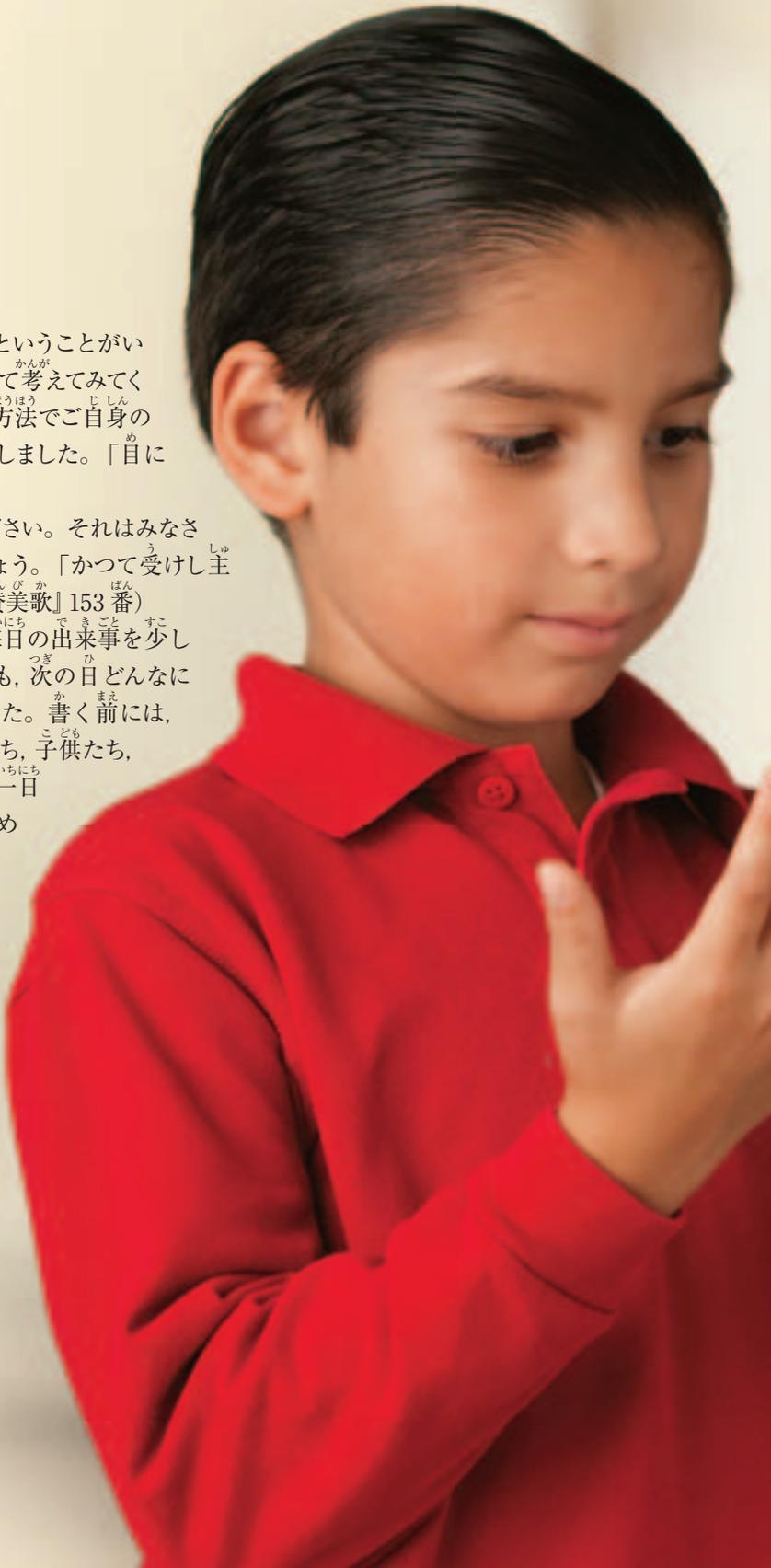
世の始まりから、神の子供たちの間で神を忘れるということがいつも問題となってきました。モーセの時代について考えてみてください。神はマナをあたえ、させきや目に見える方法でご自身のたまを導き、守られました。しかし預言者は、たまに警告しました。「目に見たことを忘れ……てはならない。」(申命 4:9)

神様のやさしさに気づき、覚えておく方法を見つけてください。それはみなさんのあかしを築きます。時々歌うこの歌を覚えているでしょう。「かつて受けし主のめぐみ数えてみなばおどろかん。」(「み恵み数えあげ」『賛美歌』153番)

わたしたちの子供がとても小さかったころに、わたしは毎日の出来事を少しだけ書き留めるようになりました。どんなにつかれていても、次の日どんなに早起きしなくてはならないとしても、一日も休みませんでした。書く前には、次の質問を考えるようにしました。「今日、神様がわたしたち、子供たち、家族に手を差し伸べて、ふれられるのを見ただろうか。」一日の出来事に思いをはせると、神様が家族の中のだれかのためにされたことで、いそがしいときには気づけなかったことがよく分かるようになったのです。覚えておこうと努力することで、神様はご自身がなさったことを示して下さることが分かるようになりました。

聖霊は、神様がわたしたちのためにしてくださったことに気づくのをお手伝いしてください。多くの方が気づいている以上に主がわたしたちを愛し、祝福してくださっていることをあかしします。これは真実であり、主を覚えることで喜びを得られるとわたしは知っています。■

ねん がつ そうないかい せっきょう
2007年10月の総大会における説教から。



祝福の多さにきっと
びっくりするでしょう!

アイリング管長と同じように、天のお父様が下さった祝福を書き留めることによって、それに気づくことができるようになります。

1 ノートまたは日記、ペンまたは鉛筆をそれぞれベッドのそばに置いてください。

2 毎晩、おいのりして、ねる前に次のことを書いてください。

- ・日付。
- ・その日にあった2つか3つのいいこと。
- ・そのいいことが神様からの祝福であるとしたら、どうしてそう思うのかについて。

3 おいのりするとき、いいことがあったと思い出したら、そのことについて天のお父様に忘れずに感謝しましょう。自分が見つけた祝福について家族に話してもいいでしょう。



フォティラストレーション/
ウェストン・コルトン
絵/キース・クリステンセン

主がイスラエルの子供たちに
おあたえになった祝福

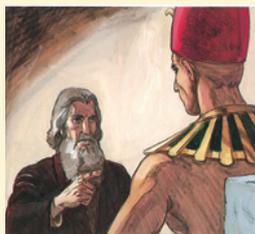
旧約聖書の出エジプト記には、主の選ばれたたみたちに問題が起こったとき、どのようにして主がたみを助けられたかが書いてあります。主のたみに起こった問題と、主がご自分のたみを助けるためにあたえられた祝福を正しく組み合わせましょう。

問題

1. 主の選ばれたたみはエジプトでどれいでした。



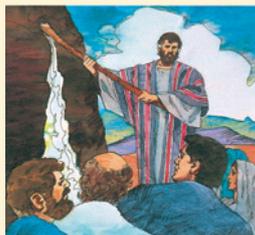
2. エジプトの王様、パロは主のたみがエジプトから出て行くのを許しませんでした。



3. パロは主のたみを出て行かせましたが、王の軍隊が連れもどそうとして追いかけて来ました。



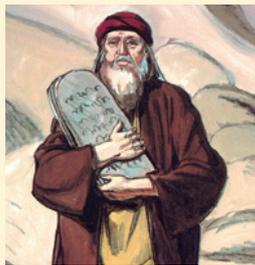
4. たみは荒野でのどがかわいていました。



5. 食べ物がなくなり、みんなおなかがすいていました。



6. 主のたみは主に従うために助けが必要でした。



祝福

A. 主はエジプトに様々な災害を起こされ、パロはついに主のたみを解放しました。

B. 主はモーセに十戒をあたらされました。主はご自分のたみのすべての人にご自身の声を聞かせ、一部の人のみ姿を現されました。

C. 主はモーセについで岩をたたくように言われ、岩から水が出てきました。

D. 主はモーセにたみをエジプトから約束の地に導くように言われました。

E. 主は紅海を二つに分け、たみがにげることができるようにされました。

F. 主はたみにパンとはちみつの味がする食べ物をおあたえになりました。その食べ物はマナと呼ばれ、朝になるといつも地面の上にあります。

天のおん父はよげんしゃを通して わたしたちに語られます

ジョアン・チャイルド,
クリスティーナ・フランコ

「しゅなる わたしが 語ったことは、
わたしが 語ったのであって、……
わたしじんの 声に よろうと、
わたしの しもべたちの 声に よろうと、
それは 同じである。」(教義と聖約 1:38)

自分の 大すきな 人に 大
切な メッセージを つた
えて もらう としたら、
どういふ 人に たのみますか。みな
さんは そのようなときは、正直で、
せきにんかんが あって、しんらい
できる 人に たのみでしょう。

天のお父さまはよげんしゃを
とおして ご自分の メッセージを
地上の 子どもたちに つたえられ
ます。天のお父さまはよげんしゃ
が 正直で、せきにんかんが あって、
しんらい できて、正しい 人たち
であることを ごぞんじです。

せいぶんには たくさん のよげん
しゃの ことばが のっています。よ
げんしゃは れいかんに よって、天の
お父さまが ご自分の 子どもたちに
むけた メッセージを 書きしるして
います。よげんしゃが せいぶんに
書きしるした いくつかの こと
について 学びましょう。

マラキは じゅうぶんの いちを は
らい、ささげものを するように と
いう しゅの メッセージを 人人
に とどけました(マラキ 3:8-10
を見ましょう)。

むすこの アルマは 大さばきつか
さを やめて、ぜんちで だんどうしま
した(アルマ 4:15-20 を見ましょう)。
そして かみさまの メッセージを



たくさん の 人に つたえました。

モロナイは わたしたち みんなに
天のお父さまの メッセージを
つたえて くれました。それは モ
ルモン書を 読むことについて
やくそくです。「また、この きろく
を うけると、これが しんじつか
どうか キリストの 名によって
えいえんの 父なる かみに どうよ
うに、あなたがたに すすめたい。
もし キリストを しんじながら、
せいしん せい い とうならば、
かみは これが しんじつである
ことを、せいれいの 力によって
あなたがたに 明らかに してくだ
さる。」(モロナイ 10:4)

ジョセフ・スミスは 天のお父さま
と イエス・キリストから とくべつな
メッセージを あたえられました
(ジョセフ・スミス-歴史 1:11-20
を見ましょう)。ジョセフ・スミスは
しょうがいをおして その メッ

セージを すべての 人に つたえ
ました。

今日 わたしたちは めぐまれて
よげんしゃが あたえられて います。
よげんしゃの ことばを 聞くこと
によって 天のお父さまの メッセ
ージを 聞くことが できます。

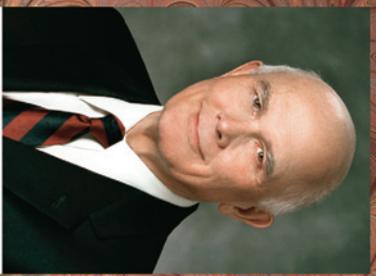
かつどう

だいかんちょう会と 十二しとの
しゃしんを たて 3つに 切りわ
けましょう。れつの 右はじに のり
をつけて つぎの れつの 左はじ
に つなげましょう。紙を こうごに
おりまげて 本のように しましょう。

下の リストを見て ちゅうおうか
んぶの しゃしんの下に 名前を 書
きましょう。そうたいかいでの 話を
聞いて この 本に メモを とりま
しょう。そうたいかいについて 思っ
たことを、かぞくで しょくじのときや
かていの夕べで 話してください。■

トーマス・S・モンソン
ヘンリー・B・アイリング
ディーター・F・ワークトドルフ
ボイド・K・パッカー
L・トム・ペリー
ラッセル・M・ネルソン
ダリン・H・オクス
M・ラッセル・バラード
リチャード・G・スコット
ロバート・D・ヘイルズ
ジェフリー・R・ホランド
デビッド・A・ベドナー
クエンティン・L・クック
D・トッド・クリストファーソン
ニール・L・アンダーセン





そ う たい かい メ モ

活動の日^{かつどう}に得た^{ひえ} 答え^{こた}

「信仰^{しんこう}がためされてからでなければ、あかしは得^えられないからである。」

(エテル 12:6)

何^{なん}て、いやな日^ひでしょう！ 今日^{きょう}わたしは学校^{がっこう}でおしゃべりする相手^{あいて}も、休み時間^{やすしじかん}に遊ぶ相手^{あそあいて}もいませんでした。給食^{きゅうしょく}のときも独りぼっち^{ひと}でした。この町^{まち}に家族^{かぞく}で引っこして来てから2週間^{ふたしゅうかん}になりますが、わたしにはまだ友達^{ともだち}がいません。

新しく引っこした家^{いへ}に向かって歩^{ある}いていると、妹^{いもうと}が通りの向かい側^{むかいがわ}に住^すんでいる友達^{ともだち}と遊^{あそ}んでいました。妹^{いもうと}が手をふって「ローザ、お帰り^{かえ}！」と声^{こゑ}をかけてきました。

わたしはふり返^{かえ}ってはみたもの何^{なん}も返事^{へんじ}をしませんでした。近所^{きんじよ}に住^すんでいる3人^{さん}の女^{おんな}の子^こは、妹^{いもうと}と同じ年^{おなじとし}の子^こばかりです。この辺^{あた}りにわたしと同級生^{どうきゅうせい}の子^こは何人^{なんにん}いると思^{おも}いますか。一人^{ひとり}もいないのです。一人^{ひとり}もです。

わたしは玄関^{げんかん}のドア^あをおし開^{ひら}けて、かばんをゆかに放^{ほう}り投^なげました。

「ガルシア^{でんわ}しまいから電話^{でんわ}があつて、今日^{きょう}は初等協会^{しよとうきょうかい}の活動^{かつどう}の日^ひだから忘^{わす}れないでねっておっしゃ^いっていたわよ」とお母^おさんが言^いいました。

「行き^いたくない」とわたしはつぶや^{つぶや}きました。「今日^{きょう}一日^{いちにち}ずっと知^しらない子^こたちといたの。もうこれ以上^{いじょうし}知^しらない子^こたちといるのはうんざり^{うんざり}よ。」知^しらない人^{ひと}たちと簡単^{かんたん}に話^{はなし}ができる人^{ひと}もいるかもしれませんが、わたしは苦^{くる}手^てです。

「仲^{なか}の良^よかった友達^{ともだち}と別^{わか}れてここ^{こゝ}に引っこして来る^{くる}のは大^{たい}変^{へん}だったわね」とお母^おさんが言^いいました。「お母^おさん、家族^{かぞく}みんなに新^{あたら}しい友達^{ともだち}がで^あきますようにってずっとおいのりしてきた^{きた}のよ。」

「わたしもよ」とわたしは答^{こた}えました。「毎^{まい}晩^{ばん}そのこと^{こと}をおいのりしてきたけど、天^{てん}のお父^お様^{さま}はわたしのおいのりに今^{いま}のところ全^{ぜん}然^{ぜん}こたえてく^くださらないわ。天^{てん}のお父^お様^{さま}は聞^きいてく^くださ^さってないみたい。」

お母^おさんはわたしの手^てをぎゅっとにぎりしめて、「ガルシア^{かあ}しまいからの電話^{でんわ}があなたのおいのりに対^{たい}する答^{こた}えかもしれないわよ」と言^いいました。

「何^{なん}でそれがわたしのおいのりに対^{たい}する答^{こた}えなの」とわたしはたずねました。

「時々^{ときどき}わたしたちがおいのりするときに、天^{てん}のお父^お様^{さま}は、おいのりに対^{たい}する答^{こた}えを得^えるためにわたし自身^{じしん}に何^{なん}かをするよう望^{のぞ}まれることがあるの」とお母^おさんが教^{おし}えてくれました。「つまり、信^{しん}仰^{こう}をもって行^いうっていうこと。おいのりするだけではなく、実^じ際^{さい}に行^い動^{どう}してみることが大切^{たいせつ}なのよ。時には祝^{しゅく}福^{ふく}を得^えるために信^{しん}仰^{こう}をもって行^いうことが必要^{ひつよう}なの。」

「そんなことあるのかな」とわたしは思^{おも}いました。「活動^{かつどう}の日^ひに行^いけばほんとうにおいのりの答^{こた}えが得^えられるの?」

それからお母^おさんは、教^{きやうかい}会^{かい}まで車^{くるま}に乗^のせて行^いこうかと言^いってくれました。わたしは一息^{ひといき}深^{しん}呼^こ吸^{そく}してからうなずきました。少^{すこ}し心^{しん}配^{ぱい}でしたが、それが正^{ただ}しいことだという気^きがしました。

教^{きよ}会^{かい}に着^つくと、わたしのお心^{しんぞう}臓^{ぞう}はどきどきしていました。ガルシア^{かあ}しまいがわたしを温^{あたた}かくむかえ入^いれ、テ^{ちか}ーブル^{ぶる}の近^{ちか}くの



「**神**が望みに応じて
すぐにもくいてく
ださるとは限りません。
むしろ神は、永遠の計画
の中でみなさんにとって
最もふさわしい方法でお
こたえになるのです。」

十二使徒定員会 リチャード・G・スコット長老
「不確かで困難な時代に支えとなる信仰の力」
「リアホナ」2003年5月号、76



いすまで連れて行ってくれました。ガルシアしまいが温かい笑
顔とおやさしい声でむかえてくれたので、とてもほっとしました。

テーブルの向こうにすわっていた一人の少女がわたしを
見て、「こんにちは、わたしテレサって言うの」と話しかけてき
ました。「新しい人？」

わたしは思わずのどがつかまって声が出なかったので、こく
んとうなずきました

「わたしあなたを学校で見かけたと思うわ」とテレサが言
いました。「どこのクラス？」

わたしはぐっとつばを飲みこみました。「リー先生のクラ
ス」と答えました。

「わたしはとなりのクラスよ!」と彼女が言いました。

それからわたしたちはクラスのことやそれぞれの好きなこ
とを話しました。おどろいたことに、話しているうちに共通

点がたくさん見つかりました。二人ともローラースケートが
大好きなことがわかりました。

活動の後、むかえに来てくれたお母さんの車にわたしは
飛び乗りました。

「お母さん、新しい友達のテレサと遊んでもいい？」わた
しがテレサに手をふると、テレサも手をふってくれました。

お母さんも大賛成してくれました。その日は夕暮れまで、
二人でわたしの家の前の通りでローラースケートをして遊び
ました。

その晩、ベッドのそばにひざまずいたわたしは、いのりにこ
たえてくださったことを天のお父様に感謝しました。最初は
活動の日に参加するのをためらっていましたが、ほんとうに
行ってよかったと思います。勇気をもって信仰を行いに表す
ことができてうれしいです。■

わたしたちの ページ



ソニヤ・K, 5才 (ロシア)

ぼくにとっていちばん大切な日

これは、2年前にぼくがバプテスマを受けた日にお父さんととった写真です。ぼくにとっていちばん大切な日なので、この日のことはいつまでも忘れないと思います。この日ぼくは天のお父様と神聖な約束をしました。天のお父様とイエス・キリスト様が生きておられて、ぼくをととても愛してくださっていることを知っています。

ぼくは神殿に行くのがほんとうに好きです。ぼくはまだ神殿の中に入ることはできませんが、神殿に行くのはとても楽しいです。だからお父さんたちにいつも神殿に連れて行ってくださるようにお願いしています。

ミルトン・アーロン・V,
10才 (エクアドル)



「わたしたちの トーマス・S・モンソン だいかんちょう」
タイラ・J, 7才 (アメリカがっしゅうこく, ユタしゅう)

「わたしたちの ページ」に絵やしゃしん、けいけんだんやあかしをおくりたい人は、けんめいのところに「Our Page」(わたしたちの ページ)と書いて、電子メールでおくってください。おくり先は liahona@ldschurch.org です。

応募の際には、必ず子供の氏名、性別、年齢(3歳から12歳に限る)、それに親の名前、ステーク/地方部、ワード/支部名を明記し、親の許可書(電子メールでも可)を添えてください。お送りいただいた原稿は、紙面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために、編集されることがあります。



アルゼンチンにすむ
7才になるセレス
ステ・Cと一つ年
下のギリアナ・Cの
ぎょうだいは、へやの

せいとんをしりおもちゃやくつをかたづけて、お母さんのお手つだいをするのがすきです。またお母さんがいそがしいときには、弟のせわをしり、あそんであげたりします。かぞくはみんなでしんでんに行くのがたすきです。そうするとかぞくがもっとなかよくなる気がすると、セレスとギリアナは言います。

モーセ



モーセについて

しゅは モーセに きせきを おこす
ちから 力を おあたえに なりました。モー
セが こうかいの 海を 二つに 分けたので イスラエル
じん 人は エジプトから にげることが できました。その後
モーセは じっかい という いましめを うけました。

しゅが なぜ 自分に そのように のぞまれるのか
わ 分からないときがあるかもしれません。それでも モーセの
ように しんこうを もって しゅに したがうならば しゅ
は かならず あなたを しゅくふくして くださいます。

もっと くわしく 知るために つぎの せいくを よ
読みま しょう

しゅつ 出エジプト3-14しょう モーセは きせきを おこし
エジプトから イスラエル人(じん)を みちびき だしました。

しゅつ 出エジプト19-20しょう しゅは モーセに じっか
いを あらわされました。

ダニエルの いのりの もはん

ローリー・ウィリアムズ・ソービー

じつわを もとに 書かれました。

「あなたは、^{とし}年が わかいために
^{ひと}人に かるんじられては ならない。
むしろ…… しんじゃの もはんになりなさい。」
(1テモテ4:12)

1. ダニエルは とても わくわくして いました。ひこうきに のって ペルーに いる おじいさんたちの ところへ 行くのです。おじいさんたちは 教会いんでは ありませんが、ダニエルのことを とても かわいがってくれます。そして ダニエルも おじいさんたちのことが ^{だい}大好きです。



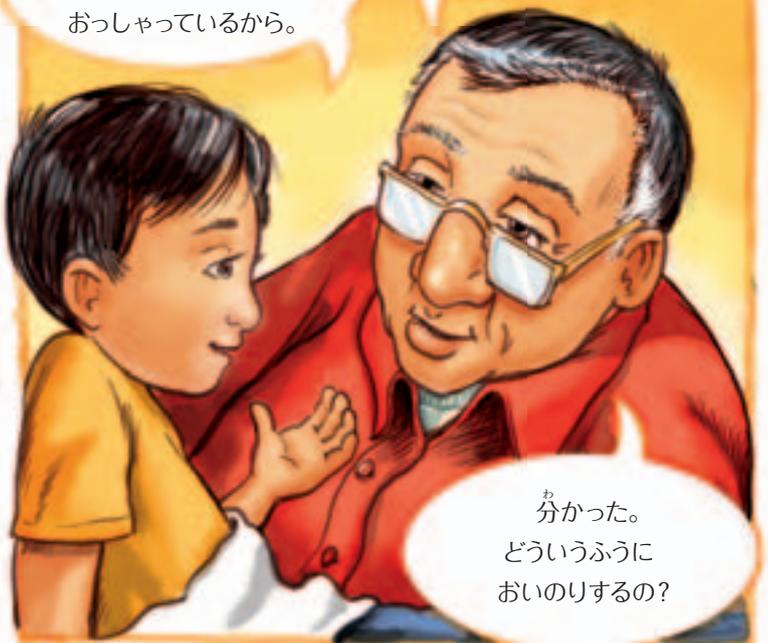
2. ペルーに ついた ダニエルは、おじいさんたちに ^あ会えて とても うれしく なりました。でも お父さんたちとはなれて ちよっぴりさびしくも ありました。スペインの 家 に いるときと ペルーでは いろいろ ちがうことが ありました。でも ^{ひと}一つだけ 同じものがあることを ダニエルは 知っていました。



4.

どうして おいのりしたいの？

だって イエスさまが
そう するようにって
おっしゃっているから。



わかった。
どういふふう
においのりするの？



3.

ねる^{まえ}前に
いっしょに おいのりしない？

5.

ひざまずいて、^{あたま}頭を^さ下げて、
目^めを とじるんだよ。



6.

そして ^{てん}天の ^{とう}お父さまに
しゆくふくを ^{かん}かんに^{しゃ}して
たすけてくださるよう
おねがいするんだ。



7. ダニエルが ペルーに ^{あいだ}いる間、おじいさんたちは ^{まいにち}毎日 ^{あさ}朝ばん
おいのりを ^{こころ}しました。それは おじいさんたちに ^ととって ^ととて
も ^{こころ}心に のこる ^{できごと}できごとでした。



8. ダニエルは おじいさんたちと
おいのりするときに ^{しあわせ}しあわせ
な ^{きもち}気もちに ^{なりました}なりました。天
の ^{お父さま}お父さまも ^{よろこんで}よろこんで
おられると ^{ダニエル}ダニエルは ^{おも}思い
ました。



よいもはんをしめす

ダニエルはよいもはんをしめすことをまなんでいます。ダニエルがよいもはんをしめしているえのまるのなかにわらっているかおをかきましよう。ダニエルがわるいことをしているえのまるのなかにかなしいかおをかきましよう。

親の皆さんへ

- 子供と一緒に「ダニエルのいのりのもはん」の話を読みましよう。あなたに良い模範を示してくれた人の話をしてください。
- モルモン書からアビナダイの話をしてください（モーサヤ11-17章参照）。アビナダイの力強い模範と教えによって、アルマが真理の教えに改宗したことを説明しましよう。



せいくさがし

せいふんには てんの おとうさまに したがって よい もはんを
せしめた よげんしゃや そのほかの ひとびとの はなしが あり
ます。せんを たどって それぞれの よげんしゃの はなしが ど
の せいてんに あるか みつけてください。

しよ
モルモン書



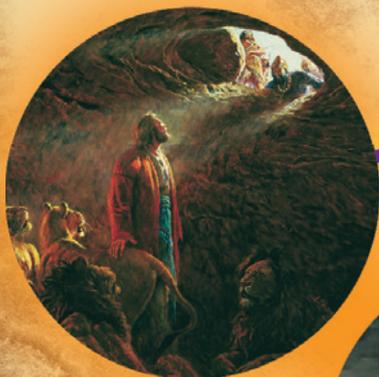
しんやくせいしよ
新約聖書



きゅうやくせいしよ
旧約聖書



こうか しんじゆ
高価な真珠



ダニエル



ジョセフ・スミス



バプテスマの ヨハネ



ニーファイ

右「ライオン」の穴の中のダニエル、クラーク・ケリー、フレイス画。© 2010 「預言者」ジョセフ・スミス、アルビン・チェインズ画。イエスにバプテスマを施すバプテスマのヨハネ、トレグ・K・オルセン画。描写は簡略化されています。「反抗的な兄弟たち」を批評するニーファイ、アーノルド・フリハゲル画。

教会のニュース

大会で学んだことを実践して 生活を変える

教会機関誌

メリッサ・メリル

アメリカ合衆国ユタ州のジェレド・スミスと妻キャサリンは、2010年10月の総大会が終わって間もなく、3人の子供と一緒に近隣をドライブして紅葉を楽しむことにした。出発前、スミス兄弟は聖別された油の小瓶をポケットに忍ばせた。常に神権者として奉仕できるよう備えていなさいというヘンリー・B・アイリング管長の神権部会の説教の言葉が頭にあったからだ（「御霊とともに奉仕する」『リアホナ』2010年11月号、59参照）。

家に帰る途中、行く手に人だかりができていた。幼い少女が地面に横たわっている。頭部に何らかの損傷を負っているようだった。「お願いします。だれか、聖別された油を持っている人はいませんか。お願いします」と叫ぶ女性の声が聞こえてきた。スミス兄弟はとっさに車を止めると、少女の父親に油の小瓶を渡した。神権の祝福をしたところ少女は意識を取り戻し、両親に何か話し始めた。その直後に救急隊員が到着して少女を病院に連れて行った。

「わたしは油を持って来ていました。アイリング管長が言ったように備えていたのです。折よくその場に居合わせたことに対してわたしたちは温かく平安な気持ちを感じました」とスミス兄弟は言っている。「うちの子供たちは神権の力の祝福を目の当たりにしました。天の御父はその少女とその家族、そしてわたしたちをも愛しておられるのだと感じました。」

スミス家族のように、総大会で受けた勧めを実践して祝福を受けている家族は多い。会員たちは次の大会のために備えていることであろう。預言者の言葉に心を留めた家族の話をも3例紹介する。

これ以外の話（英文）を読みたい方や自分の経験を投稿したい方（言語は問わない）は、LDS.orgの「the Church News and Events（教会の

ニュースおよび行事）」のセクションでこの記事の全文を読むことができる。URLはlds.org/church/news/how-general-conference-changed-my-life



ジェームズ・B・マルティノ長老が

大会で語った言葉は、
ニュージーランドの
アンヌ・テ・カワに、
祈り求めれば
必要な導きが
受けられるという
確信を与えた。

アンヌ・テ・カワ（ニュージーランド、タラウア）
2010年の初め、わたしは大きな個人的試練と戦っていました。ビショップからは、専門のカウンセラーに会った方がいいかもしれないと言われ、ショックを受けました。わたしは薬物依存症とアルコール依存症の治療の分野で働いており、依存症から立ち直るトレーニングを施しているからです。「わたしはカウンセラーよ。外部からの援助は要らないわ」と思いました。

試練との格闘と自分のプライドとの戦いが続く中、4月の総大会が始まりました。七十人のジェームズ・B・マルティノ長老が「万事を益となす」という題で説教をしました（『リアホナ』2010年5月号、101参照）。苦難への対処をテーマにした話でした。

この長老のメッセージに心を打たれたわたしは、何をすべきか導きを求めて祈ることにしました。大会が終わったときには、信仰を求め、救い主が聖霊によって自分を導いてくださることを信じようという思いに満たされていました。

2週間ほど深く考え、祈り、思案した末、遂にカウンセリングを受けてみることに決めました。受けてみると得るものが多く、カウンセリングを受けてよかったと思いました。しかも、マルティノ長老の話を読み返し、天の御父への祈りを通して力を得、御子イエス・キリストの贖いあがなに頼るようにしたおか

げで、常に平安な気持ちで過ごせるようになりました。へりくだって主を求めるならば、必ず試練を克服できることを証^{あかし}します。主は、何をすればよいのか、具体的に分かるよう導いてくださるのです。

アンドレア・ルーシェ (アメリカ合衆国, テキサス州)

夫のコリンとわたしは、2009年10月に親になりました。娘のイライザが5か月になるころには、家庭の夕べと聖文学習にいつから娘を参加させるかということが話題になっていました。家庭の夕べは娘が起きている時間帯に開くべきなのでしょうか。娘はモルモン書の朗読を聞いて実際に何か学ぶことができるのでしょうか。

2010年4月の総大会で、十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老がこう言いました。「若人は何歳であっても、幼児でさえも、モルモン書の特有の霊に反応します。」(「目をさましてうむことがなく」『リアホナ』2010年5月号, 41)

そこで、わたしたちは簡単な変化を少しずつ加えていきました。イライザのために、初等協会の歌のCDを定期的にかけるようにしました。夕食時には、イライザと一緒にモルモン書を2、3節読みます。イライザがベッドに入る直前に家族の祈りをするようになりました。散歩のときには、鳥を指さしては「この鳥はイエスさまがお造りになったのよ」とイライザに語りかけます。今は分からなくとも、いつか分かる時が来ると思うのです。

これらのことを行うことによって、将来に対するわたしの不安はかなり和らぎました。必要な知識をイライザに与えることによって親の役割を果たし、預言者の勧めに従うならば、将来イライザは祝福されるだろうと感じています。

コリン・ルーシェと妻のアンドレアは、求めている答えをデビッド・A・ベドナー長老の大会のメッセージから見いだした。



セラー・ファカトウ (イングランド, ウェストミッドランド州)

我が家は皆多忙です。お互いの話にじっくりと耳を傾けたり、親切や思いやりを実践したりするだけの時間の余裕がないこともあります。そこで、次の総大会に備えて、どうしたら家族の結束を強めることができるか分かるよう家族で祈りました。

「神に対するわたしたちの義務——次の世代に対する親と指導者の使命」というロバート・D・ヘイルズ長老の話が、わたしたちの祈りと問題に答えを与えてくれました。(『リアホナ』2010年5月号, 95 参照)

特に感銘を受けたのは、ヘイルズ長老のお孫さんが、「おじいちゃん、ほんとうにそこにいるの?」と問いかけてきた話です。十二使徒定員会のヘイルズ長老はこう説明しています。「そこにいるとは、若人の気持ちを理解し、若人とつながるという意味です。若人とつながるとは、単に言葉を交わすという意味ではなく、何かを一緒にするということです。」

わたしたちは家庭内の交流を深めるよう努めました。夕食時には、その日の出来事を話します。自分が直面している問題について話し、その問題に立ち向かい、それを乗り越えるために聖文から学んでいることがどう役立つか意見を言うのです。

こうした意見交換の場を持つには努力が必要でした。しかし、この良い習慣が我が家の家庭生活に定着してくるにつれて、わたしは家族に対して特別な愛情を感じるようになりました。大会で受けた預言者の勧めに従うと、ほかの疑問に対する答えも心に浮かび、イエス・キリストにさらに似た者になる方法が分かるようになりました。心にあった不安は消え、わたしはかつてないほどの平安を感じています。■

小さなスペースに 自立の種をまく

福祉部
アリー・シュルト

多くの教員はアパートや狭い家に住んでおり、畑にするような土地がない。乾燥地帯に住んでいて種をまいても作物が実らないという会員もいる。また、食べる野菜を自分で作るような時間やお金がないと感じている会員もいる。しかし、信仰と熱意と根気、それにほんの少しの創意工夫があれば、野菜作りはだれにでもできるのである。

会員が野菜作りの勧めについてよく祈って考え、その原則に従うための方法を探すならば、驚くような解決策が見つかるのである。野菜作りの勧めに従った会員の経験談とアドバイスを紹介する。

予算相応の菜園

アメリカ合衆国テキサス州ヒューストンのノエル・キャンベルは、マンション住まいをしていたときに、野菜作りに必要なものはほとんど家の中にあることに気がついた。ベランダに廃品利用の容器を置き、その中で野菜を育て始めたのである。容器は洗濯洗剤の容器からプラスチック製のバケツまで、何でもよい。

彼女はこの小さな容器から大量の食糧が収穫できることに驚き、菜園を拡張した。といっても、家の中から集めたものを利用することには変わりはない。古い本箱とゴミ箱で、垂直方向に菜園を広げた。古い一人用トランポリンの枠は、今では豆類その他のつる植物の支柱に使っている。バーベキュー用の古い焼き網まで、トマトの木が倒れないようにする支えとして使っている。

ノエルはこう語る。「わたしは、容器を利用した野菜栽培に挑戦するのが好きなんです。小さな2.5メートル四方のベランダが、ただのコンクリート敷きのスペースから、食料を生み出す生きた緑の菜園に変貌するのを見るのはたまりません。」



写真／ノエル・キャンベル

**箱やバケツ、瓶
その他の容器を
利用すると、
狭いスペースを
生産性の高い菜園に
変えることができる。**

容器を使って

カナダのアルバータ州のシャーリー・マーティンは、ソーダやジュースの空の瓶のように簡単な容器で、ほとんどどんな植物でも育てることができることを経験から学んだ。彼女によると、容器を使う野菜栽培の鍵は、適度の光と水だという。植物の成長を促すように調整しさえすれば、光は窓でもランプでもよいそうだ。そして、容器の中の土は畑より乾くのが速いため、水は頻繁にやる必要がある。

「今年は我が家のベランダに幾つか容器を置いて、家庭菜園をしています。ハーブやレタス、トマト、タマネギ、アサツキ、唐辛子でいっぱいなんですよ。想像力を働かせれば何でもできます」とシャーリーは語る。

経験から学ぶ

香港のクワン・ワー・カムが菜園を作ろうと決めたのは、最初は家庭貯蔵のためだった。自分で野

神殿ニュース

菜作りを試みたことはなかったが、必要な知識は本を読めば分かるだろうと高をくくっていた。

しかし、本から得た知識は助けにはなったものの、実際に野菜を作る過程で学ぶことの方がはるかに役立つことにクワンはすぐに気がついた。年を追うごとに経験は蓄積されていった。どのような土を使えばよいのかが種の種類ごとに分かるようになり、良い種と悪い種の見分け方、野菜の種類に応じた水と肥料のやり方、個々の野菜に合った栽培の時期などもだんだんと分かるようになっていった。

しかし、クワンが学んだのは野菜作りだけではなかった。ある晩、激しい嵐あらしに襲われ、菜園が壊滅状態になるかと思われた。ところが、翌朝見ると、驚いたことに植物は壊滅どころか、水分をたくさんもらってさらに丈夫になっていた。

クワンはこう語る。「この経験から、神を信じる信仰を持っていれば、試練や困難にも勇気をもって対処することができ、強くなるということを学びました。野菜作りからは、物質面と霊的面の両面で祝福を受けてきました。■

「野菜作りをしなかった期間はわたしの人生ではほとんどありません。市内の分譲マンションに住んでいる現在ですら、毎年苗を植え付けて野菜を収穫しています。……毎年春になると、非常に小さな種を選別して、丹精に整えた苗床にまきます。この種が、驚くほどの量の食糧を生み出すのです。」

十二使徒定員会 L・トム・ベリー長老
"The Law of the Harvest," *New Era*, 1980年10月号, 4

モンソン大管長、 ローマで^{くわ}鍬入れ式を行う

トーマス・S・モンソン大管長は、2010年10月23日に、イタリア・ローマ神殿の鍬入れ式を行った。2年前に建設計画が発表された3階建て、延べ床面積3,700平方メートルのこの神殿は、ヨーロッパで12番目、イ



トーマス・S・モンソン大管長は、
2010年10月23日に、
イタリア・ローマ神殿の鍬入れ式を行った。

タリアでは初めての神殿である。完成すると、この神殿にはイタリアおよび近隣諸国の会員が参入することになる。6ヘクタールの敷地は、様々な目的に対応する集会所および訪問者センター、家族歴史センター、参入者用の宿泊施設を有する、宗教と文化の中心地となる。

アルゼンチンで建設が進む神殿

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老は、2010年10月30日に、アルゼンチン・コルドバに建設する神殿の鍬入れ式を行った。神殿用地は、アルゼンチンの教会初期の礼拝堂の一つが建っていた土地である。「この土地が最終的に主の宮を擁するようになるとは、何とすばらしいことでしょう」とアンダーセン長老は語った。この神殿は、アルゼンチンで2番目の神殿となる。アルゼンチンはブエノスアイレスにも神殿がある。

アリゾナ州ギルバートでの鍬入れ式

七十人会長会のクラウディオ・R・M・コスタ長老は、2010年11月13日に、アリゾナ州ギルバート神殿の鍬入れ式を行った。2008年4月26日に建設計画が発表されたアリゾナ州ヒラバレー神殿とアリゾナ州ギルバート神殿は、トーマス・S・モンソン大管長が大管長に召されて初めて建設計画を発表した神殿である。アリゾナ州ギルバート神殿はアリゾナ州で4番目の神殿であり、5番目のアリゾナ州フェニックス神殿は、まだ設計を進めている段階である。■

読者からの便り

ポスターが大好き

『リアホナ』はいつもとてもおもしろいです。いろいろな方法で投稿できるようになっているので、親しみを感じますし、制作の一端を担っているような気持ちを感じます。ポスターが大好きで、額に入れて職場に飾っています。皆さんのあらゆる努力に感謝します。

ベルサ・ピオラ・レティス・エスピノ (メキシコ)

増加し続ける会員数

わたしたちガーナ・アブアクワ支部の会員は、最近、支部設立1周年を祝いました。最初50人だった聖餐会せいさんの出席者数は、今では128人になっています。わたしたちは指導者たちを愛しています。『リアホナ』を読み、研究しています。改宗者その他の『リアホナ』を持っていない人のために、わたしたちは『リアホナ』を多めに買っています。会員数は増加の一途をたどっています。わたしたちはモルモン書が真実であることを知っています。

クリストファー・ビドアル (ガーナ)

荒れ狂う海いかりの錨

我が家に『リアホナ』があるとは、何とありがたいことでしょうか。『リアホナ』は力の源です。ある日、頭の中に清くない思いが次から次へと浮かんできました。そのとき、わたしは『リアホナ』を読みあさりました。すると、そのような思いが消えていったのです。『リアホナ』は思いを清くするのに役立ちます。荒れ狂う海に下ろした錨のような役割を果たすのです。

ビクトリーノ・F・デラ・クルス・ジュニア (フィリピン)

ご意見、ご感想を liahona@ldschurch.org にお送りください。掲載されるお手紙は、紙面の都合上、あるいは明瞭な表現めいりょうにするために編集されることがあります。■

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に幾つか例を挙げます。

「洪水で離れ離れになっても、祈りで結ばれた家族」14ページ

—— 記事を読んだから、アルマ34:18-27と一緒に読んで、祈りの原則を強調してもいいでしょう。祈りがこたえられた経験を家族に話してもらいます。



「癒しいよの力」18ページ

—— 記事に出てくる話を読んで話し合ってから、家族で「われ主を愛して」(『賛美歌』134番)を歌ってもよいでしょう。だれかに傷つけられそうになった場合、どうしたら前向きに対処できるか家族で話し合います。贖あがないを自分の生活に即して理解し、自分の生活に贖いの効力を取り入れることによって「傷ついた心や誤解や憎しみを癒すことができるようになるのはなぜか、話し合います。

「家族の教義を教える」32ページ

—— ジュリー・B・ベック姉妹のメッセージを紹介し、家族の教義の大切さについて家族で話し合います。家族を脅かすものは何か、信仰によってそれをどう克服できるかについて話し合います。あなたの子供たちがふさわしい時期に家庭を構えることに不安やためらいを感じている場合は、それを解消できるよう助けます。

「み恵み数えあげ」62ページ

—— 家族でこの記事を読む前に、家族に与えられている祝福を思い出すヒントになるような物

を部屋中に置きます。服や食べ物、聖典、救い主の絵、家族の写真などがよいでしょう。このような「祝福」を家族に探させ、それに感謝している理由を言ってもらいます。感謝することのリストを家族に作らせ、それを時々見直すよう勧めるといいかもしれません。

.....

家を離れた家庭の夕べ

子供たちのうち3人が現在家を出て学校に通っているため、わたしの家族はインターネットで家庭の夕べを行っています。わたしは家庭での霊的な経験や『リアホナ』や聖文、特にモルモン書から学んだ教えを子供たちに電子メールで送ります。1週間たってもわたしがこの電子メールを送るのを忘れていると、「ママ、送ってよ。楽しみにしているんだから」と皆に言われます。このようにして家族で家庭の夕べをすることによって、物理的には離れていても、子供たちはわたしたちを強めてくれています。

わたしは、家庭の夕べは靈感されたプログラムだと信じています。救い主イエス・キリストの堅固な岩の上に土台を築き助けになるからです。また、家庭の夕べを通して、わたしたちは主が望んでおられる永遠に結ばれた家族になることができます。

ノルマ・レティシア・トレビーニョ・デ・テイラー (メキシコ、ヌエボ・レオン)

なぜ手引きなのか

前回、前々回と2回にわたる世界指導者訓練集会において、教会の指導者は2冊の新しい手引きを紹介し、そこに書かれている方針をどのように実行すればよいのかを説明した。そして、なぜ手引きが大切なのかという疑問にも答えた。

教会の手引きを活用することには、以下の3点を含む多くの利点がある。(1) 教会が急速に発展する中で、手続きを統一する。(2) 大管長会の負担を軽減する。(3) 地元の指導者が啓示を受けやすくなる。

統一と発展

手引きは、教会が全世界で急速な発展を遂げている中で、教会の方針や手続き、プログラムの統一を図るという役割を果たす。

トーマス・S・モンソン大管長は、2010年11月の世界指導者訓練集会の中で次のように語っている。「1830年に教会が組織されて以来、会員数は増加し、今後も世界各地の何千ものユニットでさらに増え続けるでしょう。このような『手引き』がなければ、教会の方針や手続き、プログラムの統一を図ることはほとんど不可能になるでしょう。」

大管長会の負担

大管長会は現在、手続きについての質問に答え、手続きの誤りを訂正するという作業に多大な時間を取られ



手引きに精通し、手引きに従う教会の指導者は、聖霊の導きと靈感を受けることができる。

ている。手引きを活用すれば、この負担が軽減される。

「わたしたち大管長会は、日曜日以外に毎週定期的な会合を開きますが、教会の事柄を管理する際に教会指導者が起こす誤りに対処し訂正する必要に迫られています。こうした誤りの大半は、指導者が『手引き』に精通し、記載された方針と手続きに従っていれば避けることができるものです」とモンソン大管長は語る。

モンソン大管長は、教会の方針や手続きに精通していない指導者が善意で下す決断には、教会のプログラムを逸脱させる危険性が潜んでいることがあると言っている。

モンソン大管長はこう語る。「長年にわたる教会員であろうと、比較的新しい会員であろうと、方針や手続きについて不確かなとき、『手引き』を読んでもください。……『手引き』に従えば、安全です。」

啓示を受けやすくする

手引きを活用すると、地元の指導者は教会の諸事の管理について御霊の導きを求めて祈る際に、啓示を受けやすくなる。

「教会の指導者はその義務を理解し、定められた手続きに従うとき、聖霊の助けによって自分自身と仕える人々に靈感をもたらすことができます」と十二使徒定員会のクエンティン・L・クック長老は2010年11月の集会で言っている。

中央日曜学校会長会第一顧問のデビッド・M・マッコンキー兄弟は、2010年10月の総大会で、手引きの大切さを説明した。

新しいステーク会長として地域七十人から訓練を受けたとき、マッコンキー兄弟は次から次へと質問したが、残念ながら、答えはすべて手引きに書かれていたという。

「その後はあえて質問をしませんでした。手引きを読むのがいちばんいいと思ったからです。……主がわたしたち全員に1度明らかにしたことを一人一人に繰り返しおっしゃることは、天の摂理に反しています」とマッコンキー兄弟は語っている。(『リアホナ』2010年11月号、15)

2010年11月および2011年2月の世界指導者訓練集会のビデオ、テキスト、音声は、LDS.orgの**Serving in the Church**で40の言語で視聴することができる。■

ワードという家族に 守られて

キャロライン・キングスレー

子供のころのとても心温まる思い出
といえば、教会に行く準備をする
ときに母が台所の堅い床の上を歩く
ときに聞こえてきたコツコツというハイヒール
の音です。母はとても教会に熱心で、長年扶
助協会の会長としてその責任を果たしていま
した。わたしは、そうした生活に変化が訪れるこ
とになるなど考えたこともありませんでした。

ところがわたしが12歳のころ、わたしと二
人で暮らしていた母は、わたしには理解できな
い理由で教会を離れました。わたしが理想とし
てきた母は別の道を歩み始めましたが、福音が
真実であると確信していたわたしは教会に通い
続けました。母はわたしの決心を快く思ってい
なかつたようですが、それでも毎週わたしを教
会に送り迎えてくれました。

教会に集うのが心情的につらいことも多々あ
りました。特に聖餐会せいさんのときに後ろの方に独り
で座っていると、ほかの家族の親が子供たちと
一緒に座っている光景を見なければならなかつ
たからです。わたしはよく友達の家族と一緒に
座りました。このつらいときにわたしを独りぼ
ちにさせまいと心を砕いてくれたワードの「モ
ルモンの家族」やそのほかの教会員に感謝しても
感謝し切れません。

例えば、ホームティーチャーは、我が家がほか
の教会員たちの家から遠く離れているうえに
メッセージを聞くのはわたし一人でしたが、それ
でも忠実にその責任を果たしてくれました。わ
たしは福音について話したり、家の中に神権の
力ちからや御霊を強く感じられるその機会がいつも待
ち遠くして仕方ありませんでした。

ワードの会員の多くは、古くからのわたしの知
り合いでした。見慣れた顔の人たちが温かい笑



わたしは
12歳のときから
一人で教会に
集い始めました。
そのとき
天の御父はすでに
セーフティー
ネットを張って
わたしを
祝福してくださって
いたことを
知りました。

顔でわたしに親しく話かけてくれました。彼ら
はわたしにとってワードの父、母であり、兄弟、
姉妹でした。自分がこのワードの一員であり
愛されていると感じることで、独りぼっちで
教会に集う心の痛みは癒いやされていきました。

この経験を通してわたしは、自分が決して
独りではないことを知っています。両親もし
くは一方の親が教会に集っていない青少年
が大勢います。しかし、模範を示し、親しく接
し、召しを熱心に果たすことで、わたしたちは
こうした天の御父の息子や娘に手を差し伸
べ、温かく迎え入れる気持ちを伝えることが
できます。また彼らに福音の原則を教え、集
会や活動に活発に参加するよう促すことが
できるのです。

「天の御父は、——この地上で最も基本的
で神聖で力ある集まりである家族のもとにわた
したちが生を受けるよう計画されました」と、元中
央若い女性会長会顧問のバージニア・H・ピア
ス姉妹は言っています。「そしてその家族の中
でわたしたちは何よりも大切なことを学ぶので
す。家族という集まりに加えて、主は、ワードや
支部の家族をお備えになりました。……ワード
は家族に取って代わるものではありませんが、
家族を支え、義にかなった教えを施すために組
織されています。ワードはまた、人が天の御父
のもとに帰るために必要なすべての教えや成長
の機会を家族が与えることができない場合もし
くは与えようとしなない場合に、言うなれば『セ
ーフティーネット』ファミリーとでも言うべき役
割を果たす決意と力を持った組織でもあります。
わたしたちはワード単位の家族としての力をさら
によく理解して、その聖徒の集まりにもっと積極
的に参画する決意を新たにする必要があります。」¹

わたしのセーフティーネットになってくれた
人々に感謝しています。わたしはその人たちの
おかげで、自分もだれかのセーフティーネットに
なりたいと強く思うようになりました。■

注

1. バージニア・H・ピアス, "The Rewards of a Ward," *New Era*, 1995年3月号, 41



キリストの言葉

「なおしていただけるだろう」 アル・ヤング画

「するとそのとき、十二年間も長血をわずらっている女が近寄ってきて、イエスのうしろからみ衣のふさにさわった。

み衣にさわりさえすれば、なおしていただけるだろう、と心の中で思っていたからである。

イエスは振り向いて、この女を見て言われた、『娘よ、しっかりしなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。』するとこの女はその時に、いやされた。』（マタイ 9:20 - 22）



「**神**の癒し^{いや}の力は崇高であり、
深遠で美しいものです」
と七十人の菊地良彦^{あわ}長老
は書いています。「主の憐れみ^{あわ}と愛
と奇跡的な癒し^{いや}の力に感謝します。
救い主の贖い^{あがな}が現実のものである
ことを主に感謝します。贖いは、主
の恵みにより『罪を洗い清め、癒し、
永遠の命を授ける力をもたらします。』
「癒し^{いや}の力」18 ページ参照

